大正九年十二月十四日 第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊

十月三十一日

本紙定價 一部五錢 一ケ月壹圓
廣告料金 普通 一行壹圓五拾錢 特別 一行貳圓五拾錢

發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社
電話 編輯部專用三三二五 營業部專用三三〇〇

發行人 十河榮忠
編輯人 松本男
印刷人 水越内之介

南京政府の二重政策暴露

吉林義勇軍に對し滿洲國攪亂を指令す

北平軍事分會直屬機關から 來る七日を期し一齊

梅津、何應欽の北支協定によつて南京政府は抗日反滿工作の撤廢並に反日滿秘密團體の撤退を誓約したが南京政府の二重政策は依然として續行されてゐる、即ち北平軍事分會直屬の東北各地義勇軍管理處は吉林義勇軍に對し左の如き指令を發し來る十一月七日を期して大々的滿洲國攪亂計畫を企圖しつゝあることが發覺した

北平軍事分會東北各地義勇軍管理處指令

十月二日貴部より呈請の件悉く諒承す、所屬各軍を通令し十一月七日一律に活動し遲延するを得ず、請求にかゝる軍事補助費は既に駐平代表黄育文に交附す、その他何委員長より特に奬勵金として一千元を支給されたるをもつて計三千元となる、軍事活動狀況は隨時報告されたし

在滿義勇軍

自衛軍指令並に軍長

北平軍事分會直屬の在滿義勇軍は全滿に組織を有し暗躍を續けてゐるが、各地自衛軍指令並に軍長は左の如くである

各地自衛軍

一、遼寧自衛軍總指揮 王殿揚

二、遼寧別動自衛軍總司令 國强

三、吉林自衛軍總指揮 吳義成

四、吉林別動自衛軍總司令 王德林

五、黑龍江自衛軍總指揮 張大同

六、黑龍江別動自衛軍總司令 金孝直

七、熱河自衛軍總指揮 兼任 張玉書

八、熱河別動自衛軍總司令 黄子朱

各地軍長

遼寧省軍 第一軍々長 高青山 第二軍々長 夏文彬 第三軍々長 鄭北風

黑龍江省軍 第一軍々長 寧丞烈 第二軍々長 王維哲

吉林省軍 第一軍々長 趙向志 第二軍々長 張道平 第三軍々長 陳玉和

熱河省軍 第一軍々長 張玉書 第二軍々長 張東洋 第三軍々長 畢占奎

事變記念日に失地恢復を企謀

義勇軍に發した秘密指令

何應欽を委員長とする北平軍事分會は去る九月十八日の滿洲事變記念日を期し失地恢復を企謀し在滿各地義勇軍に左の如き秘密指令を發した、

在滿義勇軍の九、一八記念日の總動員計畫

一、譯文

吉林省自衛軍總指揮部 秘字第十九號

本日三日附電報に依る各地義勇軍が九、一八四周年記念日に全體總動員し力量を集中、民心を聯合し以て失地恢復の精神を消滅せしめざる件、受命後所屬に轉じ各部一體同日一致動員することゝせり玆に處置を報告す

北平東北各地義勇軍管理處宛

復命す

義勇軍の組織

滿洲國の攪亂を企圖しつゝある義勇軍の組織は次の如く北平軍事分會の直隷下に義勇軍管理處を設置、その下に總務部(電務、交通、秘書、副官、醫務、輸送各組)參謀部(作戰、指導、統計、偵探、電務各組)軍法部(承審、執法、刑務各組)經理部(會計保管、出納、庶務各組)軍械部(管理、修械各組)の五部を置き

更に天津、察哈爾省接合辦事處、非戰區管理處及び遼寧、吉林、黑龍、熱河、の各管理處あり各地指導主任を有してゐる、その下に自衛軍總、別動自衛軍總あり各軍長、獨立軍獨立師、自衛團、保衛團等を指揮してゐることが分つた

若杉參事官着滬

【上海卅一日發國通】若杉參事官は昨日正午滬内書記官を

滿洲國通貨安定策大綱

近く日滿政府發表

鮮銀總裁も大藏案に贊成

【東京國通】滿洲國通貨安定策に就ては滿洲國政府と大體意見の一致を見た大藏省では其後既報の如き具體案に基き日本銀行を始め朝鮮銀行等の關係方面に諒解を求めつゝあつたが、卅日加藤鮮銀總裁は大藏當局に津島次官を訪問、この問題に就て懇談を遂げた結果、朝鮮銀行としても大藏當局の意向に同意する旨を述べた、玆に朝鮮銀行問題に對する惱みも一掃されるに至つたので愈よ高橋藏相は四日の閣議で滿洲幣制政策に就き説明して閣僚の諒解を求める事となつた、而してその結果兩國政府同時に案の大綱を發表する筈である

興中公司社長に擬せられる

十河信二氏來連

【大連國通】興中公司社長に擬せられてゐる前滿鐵理事十河信二氏は松岡總裁の招請を受けて卅一日入港の吉林丸で來連、直ちに星ヶ浦のヤマトホテルに入つたが、船中左の如く語る

興中公司の事に就ては何も知らない、却つてこちらから聞き度い位だ、一年半振りにルンペンがやつて來たので豫定などはない松岡總裁には近く御會ひするがどんな話か會つて見なければ判らない

ソ聯兵又も

滿洲國兵に挑戰

外交部嚴重抗議せん

越境問題が日滿ソ三國間に兎角物議の種となつてゐる折柄十月十五日午前十時五十分又復ソ聯乘馬兵二名ノウアレクセイユフカ西方より觀月台に現れ盛に滿洲國兵を誘導せんとしたが早くも之を知つたので事無きを得た、外交部に於ては近く嚴重抗議をなす模樣である

明年度から新京に駐滿支財務官常置

上海には出張所を設く

【東京國通】日滿通貨安定問題については滿洲國に於ける爲替管理法の施行及び國幣の漸進的一元化によつて實質的効果を擧げることに日滿兩國政府の方針が一決したが大藏省では之が實行に關して日滿兩國當局の緊密なる連絡を計るために觀察員を派遣すると共に將來駐滿支財務官を置き主として日滿通貨の統制及び支那財界との連絡協調に當らしめるものである、而して當面の日滿通貨安定問題及び支那に於ける金融不安等については銀行局の山際事務官を現地に特派して之が觀察連絡を計らしめることになつてゐるが明年度からは新京に駐滿支財務官を常置し上海にその出張所を設けたい意向を有してゐる

全國總務部長

會議

【東京國通】今回の府縣會議員選擧に於る肅正運動の實績に徴し總選擧に對する肅正方策を樹立すべき全國總務部長會議は三十日午前九時內相以下兩次官、橋本參與官、岡田地方局長等出席の下に開催、先づ後藤內相より今回の選擧肅正運動が比較的好成績を收めたことに就き各部長の勞を謝し、尙將來國民に政治道義の確立を目指して一層努力することを希望する旨の訓示を行ひ、今後の選擧肅正に關する實施要項に就いて岡田地方局長の指示あり、次で質疑に入り、正午休憩、內相官邸に於る招待午餐會に出席し、午後は今回選擧をなした二府三十七縣の部長が實施成績を報告して今後の方針に關し意見の交換を行ひ、尙午後六時より東京會館の選擧肅正中央聯盟主催の晚餐會に出席した

國同の野田氏が

政黨更生運動を提唱

【東京國通】國民同盟の野田文一郎氏は廿九日「國民同盟の解消を前提とする政黨大合流發議出發議論」と題する印刷物を各方面に配布し國同を解消し民政へ呼びかけ合流を實現し高橋藏相、望月氏等の參加を求め政友會にも反省を求め玆に政黨更生の劃期的大運動を起さんことを提議したが今のところ安達總裁は政黨更生運動には贊成して居るが國同解消は時期に非ずと反對し居るので野田氏の提議は成立しない模樣である、而して野田氏は離黨する模樣で現在のところ野田氏と行動を共にするものはないやうだが此の一投石は國同內の複雜せる分解作業に拍車をかけるものと注目されてゐる

年賀郵便用切手

遞信省で發行することゝなつた年賀郵便切手はいよく十二月一日から全國各郵便局切手類賣捌所で賣捌くこととなつたが切手は一錢五厘一種類で意匠は中央に渡邊華山の筆になる富岳、輪廓は元祿模樣の松竹梅、下部に昭和十一年の文字を配し、大さは一寸の一寸二分大紅色凸版刷りで新年に想應しいものである、新京局でも同時に賣捌かれるが年內は年賀特別取扱郵便以外は使用出來ず又使用範圍は一般切手同樣であるけれど主として年賀郵便用である

本年度朝鮮麥實收高

【京城國通】朝鮮總督府發表=昭和十年度麥實收高は

大麥 八、七三一、九六三石
小麥 一、九三三、八一七石
裸麥 一、六六六、三一六石
合計 一二、三三一、一九六石

で昨年度實收高に比し一九四三五三三石、一割七厘の增加である

守島第二課長

新京へ向ふ

【北平卅日發國通】天津會議後北平、張家口等を視察中であつた外務省東亞局守島第二課長は三十日午前八時發列車にて新京へ向つた

新設第五校長發令

新設新京第五尋常小學校長に内定の安東朝日尋常高等小學校訓導兼校長大内吉太郎氏は去る六日附を以て新京白菊尋常小學校長を命ぜられた旨、三十日滿鐵社報を以て正式發表された

伊軍の追擊急

マカレの陷落迫る

【アスマラ廿九日發國通】イタリー北軍前哨部隊は數日來前進を開始し既にアドワ東南方六十キロの地點に達しマカレは今や完全にイタリー砲兵部隊の着彈距離內に入るに至つた、空軍部隊の偵察によればマカレ市內には今や殆どエチオピア兵の影見當らず主力はマカレ後方アンバアラギ方面に撤退したものと觀られるマカレ陷落は最早時間の問題と觀られる

エ軍主力を以て 反擊を開始

注目さるゝマカレの決戰

【アヂスアベバ二十九日發國通】ラス・セウン將軍の北軍並にラス・ハサ將軍の北西軍應援隊は廿八日完全なる連絡の下に轉回を終了愈々マカレ北方地點でイ軍反擊の活動を起した、エチオピア軍の兵力は少くとも二十萬を下らずエ軍としては最初の主力決戰である

十一月四日閣議に附議し軍縮代表は永野修身大將、永井松三大使と決定し直ちに藤井代理大使を通じて英政府に通告することゝなつた、尙英政府の意志を尊重し十二月二日の開會に間に合ふやう全權團は十一月十三日出發する筈である

華北綏靖主任に閻氏

蔣、閻密約の內容

【天津卅日發國通】曩に南京に赴いた閻錫山氏は六中全會並に五全大會出席の爲と稱してゐるが蔣介石氏との間に左の秘密協定が成立してをり閻氏は歸來せぬとの觀測が下されてゐる

一、閻氏の旅費として六百萬元支給

一、本年十一月より山西、綏遠軍費として毎月七十萬元を補給

一、河北、山東、察哈爾、綏遠の軍政權も閻氏の指揮下に置く

一、華北綏靖主任に閻氏を任命し北平軍事分會を撤收し保定に行營を設置す

一、河北、綏遠、察哈爾、山東、山西の五省に暫時土地存有辦法を實行するその方法は立法院を經て代表大會通過の上決定する

一、河北省主席、平津兩市長は山西派より出し外交方面は閻氏が當る

一、尙泰山に蟄居する馮玉祥氏は南下せぬ模樣である

永井大使

全權を受諾す

【東京國通】永井大使は外務省加藤軍縮課長より政府の軍縮方針及び交涉經過を聽取、全權諾否に就て考慮してゐたが、三十日午後外務省に廣田外相を訪問、全權を受諾する旨回答したので、廣田外相は

山内總裁等

二日に引越し

【大連支局發】電々會社の新京移轉は大體二日を以て終了四日より本社事務を開始するが總裁以下左記重役は二日『あじあ』で新京に向ふ

山内靜夫氏(總裁)三多氏(副總裁)井上乙彦氏(總務部長)中田末廣氏(技術部長)西田猪之輔氏(經理部長)

滿鐵正副總裁離京

松岡滿鐵總裁は三十一日午後二時新京發南行、また大村副總裁は二日午前九時發南行の豫定である

筒井宣化司長

初登廳

大使館一等書記官より外交部宣化司長に轉じた筒井潔氏は三十日初登廳し午後大橋次長と種々打合せを爲した

城大總長に

高山博士を推薦

【京城國通】京城帝大教授會では新總長に長崎醫大高山正雄博士を推薦することに意見一致し法文學部上野部長が長崎に赴き受諾の交涉を行ふことになつた

その日く

□ 南京政府の二重政策相繼いで暴露、これじや交涉相手になるのかどうかしてゐる

□ エ、伊マカレの決戰、陷落の日を待つのみとは情ない、肝腎玉の持つて行き處か……

□ 新京各中等學校の入學難緩和の日何時の事やら、せめて中等學校位は自由にしたいもの

□ 躍進また躍進の本紙輪轉機更に一台增設、名實共に北滿言論界の最高峰

□ 國策遂行のために邁進するは勿論飽くまで新京市民の新聞たるを覺悟

人事往來

▲藤橋伊太郎氏(官吏)三十日午後來京新京ホテル
▲中村昌二氏(軍人)同
▲磯部新氏(鐵路總局)同
▲羽根友治氏(滿鐵社員)同
▲高柳保太郎氏(マンチユリヤデリーニユース社長)三十日來京ヤマトホテル
▲村田懿磨氏(滿洲日々新聞社長)卅一日來京ヤマトホテル
▲中富貫之氏(滿洲航空會社經理部長)三十日午後來京國都ホテル
▲杉浦仲次郎氏(日本鹽業重役)同午前來京同
▲近藤直一氏(日本證券株式會社重役)同午後來京同
▲坂田義雄氏(日滿亞麻株式會社重役)同
▲兒玉正氏(五島電燈株式會社重役)同
▲三木六郎氏(三菱會社員)同
▲根村富勇氏(東洋電信電話會社員)同
▲押佐久藏氏(商業)同午前來京同
▲羽佐間崇氏(矢倉商會)同
▲木村治助氏(日滿亞麻株式會社)同午後同
▲峰旗良充氏(滿洲セメント會社重役)同
▲松井石根大將三十日午後發奉天へ
▲中西敏憲氏(滿鐵理事)同大連へ
▲郡山智氏(同)同
▲佐々木鎌一郎氏(同)同
▲佐藤應次郎氏(同)同
▲石本憲治氏(同)同
▲田中信良氏(關東軍交通監督部長)三十一日午前發鞍山へ
▲田中武次氏(關東局事務官)同鞍山へ
▲丁鑑修氏(實業部大臣)同公主嶺へ
▲石川留吉氏(京城官吏)三十日午後來京ヤマトホテル
▲梅澤定則氏(三菱商事)同
▲松岡洋右氏(滿鐵總裁)同
▲藤井十四三氏(同秘書)同
▲宇佐美寬爾氏(鐵路總局長)同
▲千葉壽氏(奉天會社員)同
▲井村竹市氏(來京會社員)同
▲長尾久吉氏(航空兵中佐)卅日午後來京名古屋ホテル
▲山崎龍一氏(大連山崎商會)同
▲谷富治氏(東京メリヤス商)同
▲田邊乙二郎氏(土木業)同
▲小松倉松氏(ハルビン畜産業)同
▲篠原幾藏氏(同)同
▲櫻井愛月氏(大連康德洋行)同

最後の切札八枚本日休載

躍進又躍進の本紙 輪轉機更に一台增設

北滿言論界の名實共に第一位に！ 更に体裁內容改善へ

「長春實業新聞」として舊東北政權下に在滿邦人の發展と指導に貢獻して來た本紙は滿洲事變、續いて新興滿洲國の創建、國都新京の誕生と共に名も「新京日日新聞」と改稱、爾來新國家の建設に協力して在滿同胞の福祉增進に一路邁進し國都の新聞として名實共に輝しい飛躍を遂げつゝあるが更に昨年より新京の各新聞社に率先して朝夕刊十二頁制を斷行し本夏新社屋の竣成と讀者の絶大な後援と相まつて紙數の激增を見、最近では一臺の輪轉機では到底讀者の要望に副ふことが出來なくなるに至り今回更に輪轉機一臺を增設し報道の迅速を期することゝなつた、新國家の飛躍的發展と國都建設の完成に伴ひ十五年の歷史を有する本紙も漸く隆々たる將來を約束されてゐる、本社はこゝに輪轉機の增設を機會に更に體裁內容共に一段の雄飛を目指して一般讀者の期待に報ひんとするものである

けふから運轉する本社二臺の輪轉機

事變第一線活躍の二十一名に行賞

步兵第四聯隊から

滿洲事變當時軍、關係官廳以外に民間より第一線にあつて活躍した左記二十一名の論功行賞は三十日第四聯隊より新京署宛送附して來た

△旭八賜金二百圓 吉澤留五郎（三笠町三丁目十六）
△旭八賜金百五十五圓 妻木景（東二條通四ノ一）
△瑞八賜金九十五圓 富田一三（吉野町一丁目十九ノ三）
△瑞八賜金八十圓 三浦知二郎（室町一丁目一七）▲賜金四十五圓松本昇（吉野町一丁目二四森野方）▲同五十五圓森野昇二（同）▲同五十五圓德本長松（蓬萊町一丁目三）▲同五十五圓德本一雄（同）▲同三十五圓灰田茂直（東五條通一六）▲三十五圓杉山民造（城內三馬路）▲同四十五圓森野常太郎（吉野町一丁目二十四）▲同四十五圓三宅濱治（飛行場南側三宅牧場）▲同四十五圓淺野勝太郎（東二條通一七）▲同四十五圓榎田元吉（三笠町一丁目十六）▲同四十五圓古谷市之亟（東一條通二四）▲同四十五圓和田義之助（吉野町一丁目一七）▲同四十五圓石川新一郎（吉野町一丁目一三）▲同三十五圓林朝一（羽衣町一丁目四ノ三）▲同五十五圓楠本純彦（吉野町一丁目藤崎工作所）▲同五十五圓森野長男（吉野町一丁目二十四）▲同四十五圓金棄秘（富士町二丁目二四）

街の日記

新京署の執務時間變更

新京署の執務時間は十一月一日から午前九時より午後四時までに改められた

保安係の生字引 園田氏去る

新京警察署保安係の生字引として既往八年間精勵の園田國太郎氏は今回掛冠し奉天驛前滿鐵乘務員宿泊所を經營することとなり五日午後二時四十分の列車で出發すると

社會事業講習會

卅日午後二時商務會に於て市政公署主催の會社事業講習會が開かれたが長岡總務廳長の社會事業に關する講演あり多大の感銘を與へた

大タク新社屋

オール新京タクシー界にトップを切つた新京大タクでは今回羽衣町二丁目の新築社屋落成に伴ふ移轉と共に市民のタクシーとしてのサービスに遺憾なきを期する爲め乘心地の良い車體の一大增車を行ひ且つお客本位をモットーとして破天荒な徹夜營業と云ふ壯擧を敢行するが尙明十一月一日には新築社屋の落成祝と增車祝賀の意味から全車體の總動員を以て同日全市を遊行デモンストレーションを行ふと

室町校で盜まる

市內室町小學校光野貞衛氏は三十日午後三時四十分頃運動場で上衣を脱いで野球練習中十六圓在中の皮蟇口を何者かに竊取された

あす（一日）

▲熱田神宮遷座祭 各官廳、滿鐵會社その他休業
▲京白線、白溫線、開通披露 午後零時半ヤマトホテル
▲滿鐵精神作興運動第一日宣誓式 午前六時半新京神社
▲寛城子驛復活、新京間列車時刻變更
▲大村滿鐵副總裁 午前九時出發

…今晩の主なる放送番組…

▲七・〇〇謠曲山姥（東京）▲七・二〇富樫津後の月酒宴島台（角兵衛）千東勢太夫外 ▲七・四〇長唄石橋（東京）唄吉住小太郎外 ▲八・〇〇義太夫一の谷嫩軍記（組打の段）（大阪）豐竹呂太夫

けふの銀相場

國幣對金票 一〇〇圓〇〇錢
鈔票對金票 一〇九圓〇〇錢
國幣對鈔票 —
現大洋對鈔票 —

明治節奉祝の學生作文發表

けふ賑かに行はる

明治節奉祝、學生作文發表會は豫定を早め一日午後一時から西廣場小學校で開催されたが、各中初等學校から選りに選つた優秀作品百十點、いづれも明治節に因んだものばかりで、定刻地方事務所野村社會主事の開會の辭に始まつて兒童作品を順次發表、武田委員長から賞狀賞品を授與、同委員長の挨拶あり、明治會古智幹事長から「明治節について」の講話を聽いて散會したが各方面よりの來賓を始め各學校から參觀者詰めかけ非常な盛況であつた

あすの新京神社は朝七時からの國恩感謝國旗掲揚式を始め七時半は神社の月並祭引續いて八時半から滿鐵社員會の精神作興運動の宣誓式など午後は七時から官幣大社熱田神宮遷坐祭遙拜式が行はれ、各會社、官廳、學校も臨時休業のところが多く新京神社は參詣者で大賑ひを呈すであらう

新京、寛城子間 あすから便利に

通勤列車を十時まで延長 列車發着時も變更

新京、寛城子間通勤列車は明一日から左の通り發着時刻が改正される

△新京驛發

新京發	寛城子着
七、一六	七、二四
八、一〇	八、一八
一一、〇〇	一一、〇八
一三、〇〇	一三、〇八
一五、〇〇	一五、〇八
一六、五五	一七、〇三
一九、五〇	一九、五八
二二、〇〇	二二、〇八

△寛城子驛發

寛城子發	新京着
七、二四	七、三二
八、二七	八、三五
一一、二二	一一、三〇
一三、一七	一三、二五
一五、二二	一五、三〇
一七、一七	一七、二五
二〇、〇七	二〇、一五
二二、一七	二二、二五

從來は六往復であつた通勤列車も來月からは更に二往復を增發して八往復となり特に最終列車が午後十時ころに運轉されるのは夜勤務會社員その他市民にも喜ばれてゐる

明治節祝賀宴 申込みが少い

此際至急申込の事

來る三日正午から記念公會堂で開催される新京總領事並に地方事務所長主催の官民合同祝賀會は宣傳がゆき亘らなかつたためか、意外に申込者が少く、今のところ僅かに百名程度に過ぎない狀況で、主催者側ではこの際多數官民擧つて至急申込を希望しゐる、會費金五十錢、申込は地方事務所庶務係（電話二〇一三）へ

晴れて凱旋

南嶺駐屯新京〇〇隊前田少尉以下〇〇名及び騎兵〇〇隊北川中尉以下〇〇名は留守隊要員を命ぜられ三十日午前九時二十分發列車で濟本隊長始め戰友在鄉軍人、國防婦人會其他多數の見送りをうけ袂別の喇叭吹奏裡に歡呼の聲に送られ、國都警備の重任を果し名殘り惜みて內地へ凱旋した

千葉白濱の椿事

死傷百餘名

【館山國通】卅日午後八時半頃千葉縣安房郡白濱町竹口春吉醤油糀倉庫（間口八間、奥行五間、コンクリート建）內部から發火したので同町及び附近各町村の消防組が出動し消火に努めてゐる中同九時半頃から折柄同倉庫內に貯藏中だつた酸素タンク二本が轟然たる音響と共に爆發、消火中の消防手廿餘名および地元民等は倒壞したコンクリートの下敷きとなり、或は爆發四散したコンクリートの破片で即死十名、重輕傷百餘名を出した、重輕傷者は地元病院に收容する一方隣村館山、北條、千倉等の病院に收容手當中だが暗夜の現場は凄慘を極めた

濱尾四郎子急逝

【東京國通】貴族院議員で大衆小說家として知られてゐる濱尾四郎子爵は廿九日午後十時十分突然腦溢血で卒倒急逝した享年四十

仙人掌

アオキ・ダンス・アカデミーも、國都の文化生活の線にうまく沿つてホールの擴張成りこの二日にはモデルンで同研究所主催のお茶の會が開かれる▲ぼくは思ふんだが、新京でもこのダンスのあるティーパアティを大いにやつたら良いと思ふ、長い冬の日のひとときを奥さんも子供も事務員も淸純に愉しく踊るのだ、そのためには普通のダンスホールとは離れてホテルか何處かが適當であらう、日本料理屋の疊の上でのダンスなどとは違つたものです

正直な馬車夫に善行章を佩用

圖案を懸賞で募集

首都專用馬車人力車組合では馬車內の遺留品についてはその都度各新聞を通じて發表してゐるが、本年に入つて既に四百件の多數に上り、中に拳銃六挺、獵銃二挺は變りものとして折かばんの如き數限りなく最近には現金百八圓とともに金の腕環が屆けられ係員を驚かせた、同組合では馬車夫が進んでかうした善行を敢てしてゐるに對し、遺失者と相談してその都度適當の謝禮をせしめてはゐるが、同組合でも一步進んで彼等の善行を表彰しやうといふので新たに善行者表彰記章を制定しこれを胸間に佩用さすことゝしこれが圖案を左記規定により一般から募集することゝなつた

規定

一、圖案は一寸實物大表面のみ意匠その他隨意
二、賞金
一等（一名）大理石置時計
二等（一名）蓄音機
三等（一名）折カバン
佳作（五名）シャープペンシル
三、申込は特別市大經路十七號首都專用馬車人力車組合
四、申込期限 十一月末日まで
五、審査發表 十二月十日
なほ審査には日滿警察官、在京新聞記者によつて嚴正公平に行はれるはず

あすの遷座祭

國旗を揭げませう 各官廳その他一齊休業

明一日は官幣大社熱田神宮遷座祭が執り行はれるため日本側各官廳、滿鐵會社その他一齊に休業することになつたが、なほ市內各戸でも國旗揭揚をぜひ忘れぬやう總領事館並に地方事務所では特に注意してゐる

京白線 運輸事項打合せ

いよいよ明日からチチハル鐵路局のもとで本營業を開始する京白線の運輸事項打合せのため三十一日午前チチハル鐵路局採運輸處長、大塚警務副處長、和田文書科長、森永運輸科長、ハルビン鐵路局山本工務段長などその他十餘名は稻川新京驛長の立會で寛城子驛の引繼並びに運輸打合せをなした

天氣と氣温

明日の天氣 南西の風晴後曇
日の出 午前六時十四分
日の入 午後四時三十一分
月の出 午前十時五十八分
月の入 午後七時四十七分
けふの氣温 最高 十五度三 最低 〇度二

誰が殺したか（上）

國枝史郎氏外二　龍造寺瞻　畫

一一四　第二の殺人　八四

二人は、連れだつて往來へ出てくると、正常はさきにたつて、ちかくの「入舟」といふ、大きな待合の門をくゞつた。

「旦那、こんなところへはいつてようがすかい？」

屑屋は不安さうに聞いた。

「なあに、かまはんさ、僕にまかしておきたまへ」

「へイ、どうも有難うがす」

立派な座敷へはいつて、腰をおちつけてから、

「ねえ、旦那・不思議なもんですなあ、あんたが峰山の若旦那で、それをこのまた、おれがたすけるなんて、全く不思議な縁ですよ」

「どうしてだね？」

「とにかくね、今夜、おれも死かけても、カ、アや子供が、可愛相に、喰へなくなつたつてわけでせう、腰にさわるもんだから、ちよつとその……つまり、なんですね眞似て見たんでさあ」

「なにを眞似て見たんだね？」

「説教強盗つてものをね！」

「とんでもないものを眞似たんだね」

正常も苦笑した。

「それがおまへさん、どこへはいつたと思はれるんですかい？」

「さあ……」

「旦那！ほんとにすみませんでしたね、あんたの、お父さんの處へはいつたわけですよ」

「ひどいことをやつたもんだね」

「どういふわけで、僕の親父のところをねらつたんだね」

「どういふわけつて、つまり、峰山おれが、馘首をうけたのは、峰山家のおかげだと思つて、憎くなつてかんがへたのか、あんたのうちのことからですよ」

「それはどういふわけだね？」

「あの、伯爵様の所で、お嬢さの腕時計がなくなつたつてことですつかり嫌疑をかけられちやつたんさ……」

「なるほどね、それはすまなかつたね」

「といふと、腕時計の犯人は、わかつたでせうか？」

「なあに、あれは、妹から僕のところへ、死ぬ前に形見にくれたんだよ」

「なあるほどね！それを、職長のやつらもわからねえや、おれを腕時計があるからつて、嫌疑者にしやがつて！」

「それからどうしたんだね？」

「ところが、旦那！かうなれあなにもかもぶち明けていひますがねとつちにしたつて、もうかうなれあ、死ぬか、ふんづかまるか、二つのうちの一つですからね」

「と、いふわけは？」

「それがですよ、断頭されたおたもんですからね……」

さすがに、屑屋も頭を掻いた。

「なるほど……それからどうしたのかね？」

「まあ、それから刑事に追はれて、かうして逃て歩いてゐるんですがね」

「それで死ぬ氣になつたのかね」

「それぢや、説教強盗にも、似合んぢやないか」

「旦那！死ぬ氣になつたつていふのは、たゞ追ひつめられたつていふわけぢやあねえんで……」

「ねえ、旦那！俺はもう、此世の中がつまらなくなつたつてわけですよ、職長の様な下のものは、いくら、まじめに働いても、喰ふか喰はずつていふ有様で、それにお前さん、金のあるやつらや、偉い人間は、えらい事をしやがつて！そしてみんな、贅澤をしたりしてゐやがる！こんなつまらない世の中は、ありやしませんや！」

（この篇中野賢三作）

映畫と演藝

（新映畫紹介）あこがれ（サウンド版）

—蒲田撮影所作品—

原作　塚本清氏
脚色　池田實之
監督　五所平之助
撮影　小原譲治

—キャスト—
女給お美津＝高松早苗
〃文代＝出雲八重子
〃お鶴＝忍節子
畫家内藤＝佐分利信
萬年筆屋小島　小林十九二
運ちやん留さん　大山健二
マダムお糸＝吉川満子
女給おあい＝松井潤子

（梗概）—伊豆半島の或町に一軒のカフェーがあつた。マダムお糸、女給文代、子持ちのお鶴、あい子、それに手傳ひに來てゐるお糸の旦那藤原の娘お美津、夜となれば常客らしい萬年筆行商の小島や運ちやんの留さん等がポンとビールを抜いて南風の夜は色つぽい倦怠に更けて行くのである

歸る積りだつたお美津は遂に女給として客相手をすることになつた、そしてお美津の前に現はれた者はスケッチに來てゐた内藤であるそして間もなく内藤はお美津をモデルに依頼した、お美津はマダムや朋輩の眼を盗んで内藤の宿に通つてゐたが遂に露見するに至り、内藤は描きたい熱心から、お美津は描かせたい純情から、遂にこの土地から姿をかくした、併し間もなく見付かつたお美津の傷いた小鳩の胸に寫つたものは、小島の男心であつた。

やがて夫婦となつた東京へ出た二人、その頃内藤の入選が新聞を賑はしてゐた、伊豆の濱通りではその日も赤安いレコードの哀調が沖の鷗を呼んでゐた。

【三十一日より長春座上映】

雑音

新京キネマでは最近「會議は踊る」と「F・P一號應答なし」の併立再上映を豫定してゐる、新京には未だ二番館がないのだから、プリントさへ新しければ、いゝ映畫の再上映は至極結構である、只ものを精選して欲しいことで常に映畫を觀る人を對象において欲しいことである常設館のファン教育にこれはいゝ課題である▲松竹も日活もギャランテーを少し引き上げたらしい、劇場も増えることだし、痛い所を狙つて常設館いぢめが始まつた、對策や如何に▲寒氣やうやくつのる館内の温度に一段の配慮を願ひたい

今日の演藝街

△長春座—三十一日より五日間、小笠原章二郎の「幽靈の置手紙」高杉早苗、小林十九二の「あこがれ」ゲーリー・クーパー、マルレネ・デイトリッヒの「モロッコ」

△新京キネマ—一日まで、オンスロウ・ステヴンスの「殺人光線」第六篇より第十篇まで、夏川靜江、市川春代、中田弘二の「炬火（都會篇）」千惠藏、市川春代の「足輕出世譚」

深夜の太陽

日活・東京作品、日活に復歸した倉田文人の第一回作品でサウンド版、小國英雄の原作脚色になるオリヂナルものらしいが、内容はメトロの「男の世界」と大半同じである、撮影は氣賀靖吾、主演者は瀧花久子、中田弘二、島耕二等好ましい小品作者であつた倉田文人の小メロドラマといつた所に興味が盡ける（二日より新京キネマ上映）

轉居

▲川西楠松氏東三條通りから曙町一丁目三十番地へ
▲菊池二郎氏東二條通りから蓬萊町一丁目蓬萊莊十一號へ
▲朝倉豐氏東三馬路から新京署へ

出生

▲平塚一郎氏（桔梗町一丁目二番地）長女好子さん二十二日出生

九星

十一月一日　舊十月六日　金曜　辛巳　先先　危　婁宿

●一白の人　運氣旺盛なれ共勢に乘ぜざるが吉病難注意　庚と壬と癸が吉
●二黒の人　天惠多大にして立身出世の兆萬事進むに吉　丙と丁と庚が吉
●三碧の人　他を信頼して却て人に利用せらるゝ憂あり　甲と辛と癸が吉
●四緑の人　苦勞する程の甲斐は無し寧ろ氣樂に過ごせ　乙と庚と辛が吉
●五黄の人　誠實を旨とせば何人の批難なし名利を得ん　午と丁と辛と吉
●六白の人　躓く事あるも屈せず沈着に處置するが吉し　甲と丙と丑が吉
●七赤の人　倦く事なく努めれば願望も追々と通達せん　乙と丁と丑が吉
●八白の人　光明一家に射し込みて繁榮を呈する大吉日　丙と丁と辛が吉
●九紫の人　小さき疵も放置すれば大手術を爲すに至る　丁と乾と癸が吉

新京日日新聞
朝刊
【本紙朝夕刊十二頁】
本紙定價 一部五錢 一ヶ月壹圓 廣告料金 普通一行 壹圓五拾錢 特別一行 貳圓五拾錢
發行所 新京永樂町四ノ一 新京日日新聞社 電話 編輯部專用三二〇五 營業部專用三三〇〇
發行人 十河榮忠 編輯人 松本勇 印刷人 水越門之介

滿鐵重役會議に於て 國幣併用制を可決

廿九日午後各機關に指令 即日より實施さる

滿洲國通貨安定政策の樹立により滿鐵の運賃その他の對パー國幣無制限併用問題はいよ〳〵實施されることゝなつたが、同問題に關し滿鐵では二十九日午後本社において重役會を開催、國幣、金票併用制を施行することに決定、直ちに各機關に對し電報をもつて指令を發した、これによつていよ〳〵國幣も滿鐵關係において自由に使用することが出來るやうになり通貨統一に多大な拍車をかけるものと期待されてゐる

"銀行の整理買收は當分の間やらぬ"

通貨統制諸問題を語りつゝ 星野總務司長昨夜歸京

約一ヶ月にわたり大藏省、對滿事務局と滿洲國通貨政策確立に關し折衝を遂げ、日滿通貨安定問題の根幹を決定して三十一日午後九時着ひかりで歸任した星野財政部總務司長は途中四平街まで出迎へた記者に左の如き車中談をなした

滿洲國通貨政策の根本方針確立問題は大藏省、對滿事務局を始め日本財界の協力によつて今回基礎が確立された、根本方針の運用は將來の問題であるが可急的速かに實現したいと思ふと前提し通貨安定政策に關し左の如く語つた

替管理法 の施行時期については言ふことは出來ないが、滿洲國内に外國通貨が流通してゐること、日滿兩國が特殊關係にあることの二つの特異性に鑑み極めて愼重に考究すべき問題である

國幣金票の 投機取引はパーによつて安定されることとなるから實際問題としては無くなるだらう、現に奉天取引所などは自然消滅してゐるが、法令によつて禁止するかどうかは言明の限りでない

通貨の統一 は滿鐵運賃の對金票パーによる國幣の無制限併用並に關東軍の國幣による支拂その他の方法によつて漸次實現されるものと確信する、方法に關しては充分研究した上で實施したい

鮮銀の賠償 問題に關しては將來鮮銀當局とも協議の上で決定したいと思ふが中銀と鮮銀の金融上における機能の分擔等については今後の問題として殘されてゐる、或は中銀が將來普通銀行業務を停止する樣になるかも知れない勿論これは滿洲國内に健全なる普通銀行の發達を前提とするものであるが

銀行の整備 合併問題が喧傳されてゐるやうだが將來はともあれ當分行はないと思ふ、とにかく滿洲國政府としては金融界を動搖せしむる樣なことはしない方針だ

國幣の州内 流通問題は當然發生する問題であるが、要は國民の便不便が解決するだらう

鈔票問題は 大連だけの問題で大局から考へればさして解決困難なことではなからう

内地特殊銀行の擔保に 滿洲國法人の公債 株券をも適用

大藏省で範圍擴大を認可

滿洲國通貨安定政策の根本方針の確立は伴ひ大藏省では滿洲國の健全なる財政の發展に協力するため從來日本、台灣、朝鮮、興業、勸業各特殊銀行に對し滿洲國公債のみを擔保として取扱ふことを認可してゐたが、今回更に擔保の範圍を擴大して滿洲國法人一切の公債、株券をも擔保として取扱ふことを認可することゝなつた、これによつて滿洲國法人の公債株券は國際的信用を増大するばかりでなく將來における新規募集に際しても極めて有利な地位におかれるものと期待されるに至つた

京白ほか四線 工事完成す

交通部發表＝左記鐵道は兼て滿鐵會社に於て請負工事中の處、康德二年十月三十一日其の工事を完成せらる、以て滿洲國政府は滿鐵會社に之が經營を委託することとせり

滿鐵會社は十一月一日より該鐵道の運輸營業を開始す

（一）京白線（新京＝白城子間）
（二）白溫線、白城子起點七一粁＝索倫間
（三）北黑線、辰淸＝黑河間
（四）黑河碼頭線（黑河＝黑河碼頭間）

日滿郵便條約審査の 樞府委員會

大演習後開催せん

【東京國通】過般の閣議で樞密院に御諮詢の手續きを採つた日滿郵便條約の問題に關しては樞府は近く審査委員會に附託する事となつてゐるが、この問題に關しては川島陸相廣田外相より對滿國策に關して詳細なる説明を聽取する必要ある爲審査委員會は大演習後に開く事となつた

反滿抗日秘密工作に對し 斷乎膺懲の態度

徹底的排除を要求せざれば 事變前同樣の狀勢へ

【天津卅一日發國通】北平軍事分會の秘密工作の證據があがるや軍は斷乎膺懲の態度を固めて居るが幕僚談として左の如く發表した

支那側は北支協定に基き北支から中央軍、于學忠軍、黨部藍衣社、憲兵第三團等の撤退を約束したが其の後も依然反日滿工作を進め北平軍事分會に有力人物を潛入せしめると共に北支一帶に藍衣社、C・C團等の各種秘密結社を細胞的に組織し反滿抗日策を實施しその活動は北支事變前に勝るとも劣らぬ狀態である、これが徹底的排除を要求せざれば反日滿行動は滿洲事變前と同樣な狀態に還元する事火を見るより明かである

支那側に突付けた 反日滿策動の確證

【天津卅一日發國通】梅津何應欽協定に依り既に北支に於ける各種秘密機關は撤退して居る筈にも拘らず北平軍事分會は潛行的に此等秘密機關を復活し北支全般に亘り反日滿的工作を繼續せる跡顯著なるものあり、軍部では斷乎たる決意の下に支那側の反省を促して居る、右證據物件は廿九日軍事分會に提出されたが、内容大略左の如し

一、軍事分會、政治訓練所の撤收は名目のみにして八月十六日附の密命に依れば某方の指摘を防ぐため河北の各黨部特務員は冷靜な態度を持し積極工作を暫時中止するも黨部員即ち政治訓練所員は依然北平軍事分會第一組に附屬し從前の待遇とす

一、北平軍事分會は國民黨部藍衣社員に反動分子の彈壓を密令し再び暗黑政治を生まんとす

一、中央憲兵第三團員は天津に潛伏す、中央憲兵第三團は同團駐兵處主任陳大生が天津に於る工作開始の命を受け駐津情報偵察組を編成し十月初旬班長王致榮、黃獻忠、任鎭環、周覆之、劉正陽、許洪國、何興周を天津に派し日本側の狀況、反動運動の狀況を調査した

一、北平軍事分會義勇軍管理處は在滿義勇軍に對し滿洲國軍の奇襲を密令す、時日は十月七日大演習を擧行するを以て其の集中時期に際し之を奇襲攪亂すべし

一、在滿義勇軍に對し日本側の藉口を避くる爲秘密手段を命ず、九月十四日附密令に依れば蔣介石の電報命令を以て東北各地義勇軍は今後軍委會或は軍分會等の名稱を使用する事を避け日本の口實を作る事を免れしむる方法を講ずべし

一、軍分會の名稱使用暴露の爲義勇軍に對する戒命令十月二十一日附密令によれば蔣介石は軍分會に電令し東北義勇軍は一切軍分會名義を使用する事を禁止す、軍長の指揮等も僞名を以てせよ、自衞軍は我方の背景あり、と、日本側に看破せられたが如何にして漏洩したのかその點を詳しく調査し今後日本側の藉口を防ぎ軍分會は共產黨を利用し日ソ關係の挑發を圖るべし

右蔣介石より電報あり、軍分會某要人の洩したところに依れば蔣介石は十月十八日鮑文越に宛て

今後共產黨事件は普通法院に移送し過重な取扱ひをなすな、從犯は一律に釋放せよ、予はソ聯大使と意見を交換したが内容は嚴秘に附すが今後日ソ關係を挑發せよ平津及び河北省は放棄するものでない

鈔票安定方を 正金側に要望か

＝大連特產側動靜＝

【大連國通】大連市場に於ける鈔票近來の大沸騰は特產取引、殊に刻下の受渡し不能問題解決の癌となつてゐるがこの癌を除去せざる限り今後も不祥なる事態を繰返す惧れあり、特產側より正金當局に對し何等か鈔票安定方の要望を爲すこととなる模樣である、卅日後場反撥を演じたのも此説が流布されたためで卅一日朝も上海標金の千二百元突破に逆行して波瀾を含みながら强調を呈し百八、九圓臺を往復してゐる、斯くして鈔票の激動は特產金建取引撤回の氣運に一層拍車をかけるものとの意見が多い

大連豆取引所 取引開始解決案決定

【大連國通】大豆現物及び十月限の受渡し不安は除かれたが、鈔票の激動に刺戟され立會開始の際に於ける危懼が濃厚化したため卅日取引人組合では主力賣方の滿商を招いてその意向を聽取する一方午前十時より特別委員會を開き相場の暴騰により賣方が追證の負擔に堪へず倒産する等のことなきやう萬全の策を講ずべく協議を重ねたが午後十時過ぎに至り漸く一試案を得たので該試案を別室の主力賣方滿商に提示略々諒解成立し茲に基礎的解決案に到達、前後十三時間半に亘る協議を終へ午後十一時半散會した、右試案の内容は市場人心の動搖を顧慮しで極秘に附されてゐるなほ卅一日も午前十時より特玉十車以上の賣方、買方の協議會を開き試案に就き双方の意見が纏まればこれを特別委員會にかけて充分に練上げ通常委員會に廻附しその承認を經て組合臨時總會を招集、解決案を通過せしめて萬全の對策を確立する段取りとなる筈であるが隨つて解決案の總會通過を見るまでには定期取引は行はれまいと觀られる

松岡總裁離京

滯京中の松岡滿鐵總裁は午後二時發あじあで大連へ歸任の途についた

鐵道營業法 一部改正さる

鐵道營業法中改正の件は一日公布されるが右は鐵道中所謂軌道に屬するもの即ち電車等の營業に關しては鐵道營業法中に適用し得ざる規定あるを以て、前記鐵道は交通部大臣の指定により當該條項を適用せざることに改正し別に交通部令を以て必要なる事項を規定したものである、尚交通部は鐵道營業法第四十一條に規定する鐵道を左の通り指定した

一、奉天市營電氣鐵道
一、哈爾濱特別市營電氣鐵道

鐵道營業法中改正の件

鐵道營業法中左の通改正す

第四十條の次に左の一條を加ふ

第四十一條　第二條、第四條第二十一條乃至第二十五條及第三十二條乃至第三十九條の規定は主として道路に敷設する鐵道にして交通部大臣の指定するものに之を適用せす

前項の鐵道の營業に關する特別なる規定は交通部大臣之を定む

附則

本法は公布の日より之を施行す

北洋蟹工船事業 日產獨占す

【東京國通】日魯漁業では同社所有の日本合同蟹工船株式一萬三千株を今回日產に讓渡する事に決定した

日魯の代表眞藤愼太郎氏が工船取締役を辭任したので十二月の定時總會で正式承認を求めこの結果工船株廿八萬株の中日產は廿二萬株を占むる事となり、北洋蟹工船への日產の獨占は完成された

米保險業者 滿洲進出計畫

【奉天國通】駐奉米國總領事館に於ては本國外務省よりの命令を受け滿洲國内の各種企業に投資しつゝあるが特に最近米國生命保險業者の滿洲進出の企圖あり、同總領事館では現在滿洲國に於る各種保險制度、保險業態、全滿人口、衞生設備、一般經濟狀態及び生活程度等の參考資料の調査を開始して居るのは注目されてゐる

弘報協會創立 第一回委員會

目的達成第一歩に入る

滿洲弘報協會創立第一回委員會は卅一日午後一時半新京に開催、創立委員高柳英文滿報社長を座長とし村田滿日、染谷盛京、中尾大新京、都甲大同、大矢國通の諸氏出席、午後四時過ぎ散會したが委員長高柳英文滿報社長は委員會の結果に就て左の如く發表した

本日の委員會に於ては滿洲弘報協會問題に關する各社意見を討議したる後準備整ふ迄關係各社にて現狀のまゝ先づ組合を結成するに意見一致し、關係者に此旨を傳へて其同意を求め、なし得れば來月匆々其發會式を擧ぐる豫定であつて先づ以て目的達成の第一歩に入つたものである

軍縮會議の 陸軍側隨員決定

【東京國通】ロンドンに於て開催される軍縮會議の陸軍側隨員は駐英大使館附武官丸山政男、參謀本部附鈴木率道兩砲兵大佐に決定し、近く發令される事となつた

軍縮會議に 英自治領も參加

【ロンドン卅日發國通】來るべき軍縮會議には英本國政府の外各自治領も參加するに決定したが英本國政府より招請に對し濠洲、ニユージーランド南阿聯邦各自治領政府は卅日公式受諾を回答した

全滿輸入組合 理事協議會

本月廿八日大連に於て開催された全滿輸入組合理事協議會の目的は滿鐵地方部長及び商工課長更迭による事務打合せであつたゝめ會議は午前九時より先づ新地方部長の訓示に初まり

（イ）來年度自己資金に關する件

（ロ）本年度立替資金に關する件

（ハ）滿洲輸入株式會社業務打合せ

（ニ）來年度見本市に關する件（ホ）に就いては本年は大連、奉天、哈爾濱の三ヶ所に開く事

に大體意見一致し午後四時閉會された

實業相公主嶺へ

丁實業部大臣は三十一日午前九時新京發農事試驗場視察の爲公主嶺に向つた

田中部長 視察に南下

田中關東軍交通監督部長兼關東局監理部長は南滿地方視察の爲三十一日午前九時新京發鞍山に向つた

齊々哈爾鐵路局 幹部來社

齊々哈爾鐵路局長周培炳氏、同副局長酒井淸兵衞氏、同文書課長渡邊柳一郎氏は三十一日京白、白溫兩線開通披露に來京、本社を訪問

中銀週報

自康德二年十月二十日至同十月二十六日

貨幣發行額 一五〇、[illegible]
紙幣 一四〇、[illegible]
準備 六六、[illegible]
保證 六四、[illegible]
鑄貨 一〇、[illegible]

航空往來

▲倉重四郎氏（蒙政部）三十一日午前發ハイラルへ
▲小幸源吾氏（同）ハルビンへ
▲酒井龍男氏（同）
▲森田成之氏（交通部路政司長）同ハルビンより
▲石田功氏（滿洲航空會社員）同午後ハルビンへ
▲赤井淸章氏（同）奉天より
▲木戶貫助氏（大連）同ハルビンより
▲金井章次氏（濱江省公署總務廳長）同
▲吉野秀雄氏（同）
▲守島伍郎氏（外務省東亞局第一課長）同山海關より

話の種

首都乘用馬車人力車組合では馬車夫の善行に對して表彰記章を設け、これを佩用させうといふ、誠に結構な企てに違ひない▼馬車夫に對する兎角の非難は以前に較べてずつと減つたのは時代の影響もあるが同組合武藤主事以下の獻身的努力に俟つもの多きは吾々も夙に認めるところ▼その一例が遺留品の拾得屆であり本年に入つて既に約四百件に及ぶ屆出があつたといふのだからこれは感心に値する▼元來が苦力にもひとしい滿人の馬車夫である、忘れ物は自分の物と猫ばゝを決め込むのは當り前のやうにも思へるが、事實はさに非ず▼正直に屆出て來るなどは馬車夫としては大きな進歩であり、吾々の馬車夫に對する觀念も今後訂正せなければならないであらう▼尤も數多い馬車夫である、中には不良の者も尠くあるまいが、こうした感心の者も相當にゐることも當然買つてやるべきである▼不良車夫に出會つた不愉快を考へる時、吾々は今度の表彰の有意義なことを一層痛感しまことに愉快に思ふ

謹告

弊局加入電話は來る十一月三日午前零時を期し其の一部を大同廣場電話局新設交換機に切替致しますから左記事項御諒知の上御利用下さる樣御願申上げます
追て右切替と同時に大同廣場電話局を新京中央電話局と又南廣場電話局を新京中央電話局大和分局と改稱致しますから併せて御承知願ひます

記

一、切替と同時に電話番號を變更致しますから電話御使用の際は必ず新電話番號簿を御覽願ひます
二、新に局番號が出來ました、電話御使用の際は局番號中央電話局は二、大和分局は三、を電話番號の頭に附けて御呼び下さい
（電話番號は局番號を加へて五數字となります）
三、市外通話の受付一〇〇番、障碍受付は日本人及歐米人は一一三番、滿洲人は一一七番に變更致します（局番號なしの三數字）
四、電話に關する事務は本局に於て御取扱ひ致します、大和分局では現金受入事務に限り從前通御取扱ひ致します
五、其の他詳細は當局に就き御問合せ願ひます

昭和十年十月三十一日

滿洲電信電話株式會社
新京中央電話局

社説

赤字財政は何處へ？ 市場の現状と豫測

一

明年度豫算がどれだけの總金額になるかはまだ知られてゐない。しかし本年度のそれと大差のない金額となるであらうとは諸種の情勢から推して一般に想像されてゐるところである。昭和七年度以來の日本財政が、歲入總額中の約三分の一の公債で支辨し來つて居るため、いはゆる公債消化力の問題が最近ではやかましくなつて來てゐる。

二

國債消化の状況は今日までのところは頗るよかつたと言へる。發行の際に、日本銀行が一旦引受けたものが市中銀行その他の金融業者の手に順次買入れられ、最近は證券業者の手を通じて個人投資家もこれを買入れるやうになり、日本銀行の所有殘高は非常に少くなつてゐる。で、問題になつてゐるのは、金融業者が自分で言つてゐるやうに、金融業者の所有總額が多くなつてゐることと、低利率のものが所有證券總額中に占める割合が多くなつて、それで營業利潤が減退してゐることなのである。低金利状態が續いたために、社債地方債の低利借換へ發行が續出し、最近では一流社債の如き、税負擔を控除した正味の利廻りが國債よりも低いやうな市價になつてゐるものもあるくらゐである。又、數量に於いては社債地方債の新規發行がなく、殊に滿洲に關するものは、滿洲國國債も滿鐵社債もみな新規發行であり、これが金融市場から吸收する金額が少くない。これは赤字公債とともに市場に消化を要求してゐるものである。

三

知らるゝ如く、最近いはゆるインフレ景氣は老衰して來たのである。金再禁止直後の一、二年のやうな、景氣回復の過程は終了して此コストは高くなり、一般物價は騰勢を續けることが出來ず、むしろ反落するものが續出し、收益力の向上が著しく鈍つてゐる。これはインフレ財政政策によつて蘇生した産業だけでなく低爲替政策による輸出景氣の躍進に惠まれた産業についても同樣である。むしろ後者の方が最近は生産力の過大化のために、反動現象が著しくさへなつてゐるやうである。かかる情勢は、銀行預金の增勢の逆行にも見られるが、恐らくは政府財政のうへに税收入の自然增收減退となつて現れるであらう。自然增收は明年度豫算案にも十年度とほゞ同額を見積ると當局は言つてゐるやうであるが、その衰へるべき傾向はかやうにすでに現れてゐると判斷される。これはインフレ財政の必然的な歸結であらう。そこに、今日の政治情勢に應じての豫算の一層の膨脹といふことが考へられる。

各縣を單位とする 宣德達情工作へ

協和會で縣聯協議會開催

縣を單位とせる宣德達情工作を企圖して本年度より實施される滿洲協和會縣聯合協議會は來月一日、二日開催の撫順縣聯合會を皮切りに全國三十一縣（市、旗）にわたり擧行されることゝなつた、縣聯においては辦事處主事の指導の下に分會役員を中心とし縣公署首腦部と連絡協調して各地分會提案事項の地方的解決を協議し地方民衆の自力更生を期するもので、縣公署と地方民衆との協力による地方的諸問題の解決により地方行政の發展並に圓滑化が期待されてゐるなほ縣聯開催縣及び期日は次の通りである

省	縣	期日
奉天省	撫順縣	十一月一日二日
	開原縣	同 八日九日
	梨樹縣	同 十五十六
	遼陽縣	同 廿日廿一
	奉天市 瀋陽縣	同 廿二廿三
	本溪縣	同 廿五廿六
	海龍縣	同 豫定上旬
濱江省	綏化縣	十一月廿日廿一
	寧安縣	同 廿五廿六
	穆稜縣	同 廿九卅日
龍江省	訥南縣	同 十五十六
	龍江縣	同 八日九日
	克山縣	同 廿三廿四
吉林省	農安縣	同 廿三廿四
	長春縣	同 廿九卅日
	吉林市	十二月四日五日
間島省	延吉縣	十一月廿一廿二
	和龍縣	同 廿五廿六
	琿春縣	同 十六十七
熱河省	凌源縣	同 十五十六
	承德縣	同 廿日廿一
	赤峰縣	同 廿三廿四
安東省	通化縣	十一月廿九卅日
	鳳城縣	同 廿一廿二
三江省	富錦縣	同 廿三廿四
	樺川縣	同 廿六廿七
	依蘭縣	同 廿九卅日
錦州省	朝陽縣	未定
	阜新縣	未定
	錦縣	未定
興安北省		未定

三十一日は 世界勤儉デー

【東京國通】卅一日は世界勤儉デーであるが本年五月パリーで開催された第三回國際勤儉會議で世界勤儉デーは特に少年少女に對して勤儉獎勵をする事に決定されたので貯金局では文部省と協力の上當日を期して小學兒童にこの趣旨を徹底させる爲既に全國小學校にポスターや趣意書を配布當日は各學校夫々學童に對して勤儉訓話をしたり或は放送局から貯蓄獎勵に因んだ童話劇を放送したり耳からも眼からも世界勤儉デーの趣旨を强調しやうと計畫されてゐる

公會堂の新裝ひ 愈よ近く完成

支那料理屋の向ふを張る 大食堂もみごとに

新京記念公會堂ではさきに工費二萬五千圓を以て喫煙室および大食堂の增築を急いでゐたが來る十一月三日の明治節までには完成の豫定である、喫煙室は現在の大講堂の向つて左右兩側にずつと長く喫煙室、左側喫煙室を隔てて大食堂が出來大食堂出入のために新たに支關も設けられた、長春座との境の空地は自動車の待合、植込などに供される其他來年度の計畫としては正面の模樣がへその他内容外觀ともに一層改められるが、かくて公會堂の新面目も漸次整へられるであらう、なほ大食堂完成後は支那料理も開業して支那料理の向ふを張る筈で二十近いキーグルが備はることになつてゐるから、相當な大宴會も悠に引受け得ることになつてゐる

公會堂理事會決議

第九回記念公會堂理事會は二十九日午後五時第三談話室に於て開會

出席者 川村理事長、武田常務理事を始め殆ど全員、武田常務理事、理事長代理として議長となり左の事項を決議した

一、神崎理事後任として横山重起氏推薦の件は全員一致可決

二、岡村監事辭任申出でに對しては之を認め監事後任は新京永住者たる現理事中より選むことゝし其の指名を理事長に一任す尚監事の後任は次回までに考へて置くことに決定

三、食堂增築に伴ふ家賃增額の件は建築費に對する利廻りの件は建築費に對する利廻り市中家賃との權衡一般飲食店に對する影響等に關し種々意見の交換あり結局原案通り家賃五百圓煖房料百圓を妥當と認め全員一致可決

四、喫煙室使用料制定の件原案可決
甲、四圓 乙、六圓
講堂使用上差支なき場合に限り單獨貸與を認む講堂貸與の場合は附屬として料金を徴せず

五、長春座との境界權に非常口取設け承諾の件は異議なし

六、火災保險契約の件は原案の通り大連火災十四萬圓三井十萬圓契約のことに決定

右議事を終了六時より食堂に於て夕食を共にし席上懇談會の形式にて左記事項を協議し七時四十五分散會

一、講堂に歌舞伎溫習會等の場合に使用する爲間口九間奥行二間の組立式置舞台及花道を造り相當料金にて貸與すること

來る十一月八日 日滿中等學校長會議

南滿中等教育研究會滿洲帝國教育會合同主催の下に來る八日午前九時から新京中學校で日滿中學校精神一體となり兩國民の精神的結合を鞏固ならしむべき具體的方案を考究することゝなつた會議の要項は左の通りである

日滿中等學校長會議次序

第一日 十一月八日(星期五)

開會 午前九點鐘整

地址 新京中學校
(特別市興安大路鐵路西)

一、開會之辭
一、祝辭
一、議事
(一) 決議
(甲) 恭覲天顏之件
(乙) 參拜忠靈塔之件
(丙) 對關東軍司令官感謝之件
(丁) 決議宣言文
(暫時休會) 午前十點鐘
(議事再會) 午後一點半鐘
(二) 協議
(甲) 在滿之日滿中等學校關於鞏固推進兩國國民之精神的結合之具體的方法如何
(日本方面校長提案)
(乙) 結成日滿中等教育聯合研究會之件
(滿洲國方面校長提案)
一、講演
滿洲國之教育精神

第二日 十一月九日(星期六)
一、意見發表 關東軍參謀 吉岡中佐
開會 午前九點鐘整
地址 新京商業學校
(新京附屬地常盤町三丁目)
一、議事
(一) 報告委員會之決議其他
一、閉會之辭
閉會 午前九點半鐘

鑛業登錄令 施行細則制定公布（下の一）

第三十一條 前條第一項に規定したる場合を除くの外登錄回復の申請ありたる場合に於て登錄を回復するときは回復の登錄を爲したる後更に抹消に係る登錄と同一の登錄を爲し若し登錄事項の一部のみか抹消に係るときは附記に依り更に其の事項を登錄すへし

第三十二條 租鑛權設定の登錄を爲す場合に於て申請書に租鑛權の存續期間の記載なきときは之を十年として登錄すへし申請書に二十年以上の存續期間の記載あるときは之を二十年として登錄すへし

第三十三條 第十一條に依りたるときは鑛業監督署長は鑛業原簿移送を受けたるときは其の謄本に依り鑛業原簿に登錄を移すへし

鑛業原簿を移すときは登錄用紙中登錄番號欄に新なる番號を、其の左側に前登錄番號を記載すへし

前項の場合に於ては表示欄及事項欄に移したる登錄の末尾に鑛業原簿の謄本に依り登錄を移したる旨及其の年月日を記載し擔當職員捺印すへし

第三十四條 登錄用紙中部又は區か登錄を爲すへき餘白なきに至りたるときは新用紙登錄番號欄に前用紙の登錄番號を轉寫し其の左側に第二なること、前用紙を編綴せる鑛業原簿の册數、丁數及其の繼續用紙なる旨を記載し且前用紙の登錄番號の左側に其の第一なること新用紙を編綴せる鑛業原簿の册數、丁數及之に繼續する旨を記載すへし但し前用紙中其の餘白あるものに付ては仍之に記載すへし

前項の規定は第三以下の繼續用紙を設くる場合に付之を準用す

第三十五條 鑛業權の設定、變更又は表示の變更の登錄を爲す場合に於ては登錄用紙中表示錄に爲したる登錄の末尾に鑛區圖綴込帳の册數及丁數を記載すへし

第三十六條 鑛業權の設定又は移轉の登錄を爲す場合に於て登錄權利者多數なるときは代表者のみの氏名及住所並其の代表者なることを登錄用紙に、共同鑛業權者の氏名及住所並代表者の氏名を鑛業權共同人名簿に記載すへし

第三十七條 前條の規定に依り鑛業權共同人名簿に記載を爲すには番號欄に番號を代表者欄に代表者の氏名及其の屆出又は指定の年月日を共同人名簿に共同鑛業權者の氏名及住所を、備考欄に登錄番號及順位番號を記載して擔當職員捺印すへし

共同鑛業權者代表の變更の屆出又は指定ありたるときは前項に準して其の登錄を爲したる後前の代表者の表示を朱抹すへし

第三十八條 共同鑛業權者の表示の變更、更正又は脫退に付鑛業原簿に登錄を爲したるときは鑛業權共同人名簿備考欄に登錄の目的たる新なる事項及其の順位番號を記載し擔當職員捺印し前に記載したる事項を朱抹すへし

第三十九條 前三條の場合に於て代表者欄又は備考欄に餘白なきに至りたるときは新に番號欄を轉寫し其の左側に其の第二なること、前用紙を編綴せる鑛業權共同人名簿の册數、丁數及其の共同人名欄に共同鑛業權者の氏名を記載し且前用紙の番號の左側に其の第一なること、繼續用紙を編綴せる鑛業權共同人名簿の册數、丁數及之に繼續する旨記載すへし但し前用紙中餘白あるものに付ては仍之に記載すへし

前項の規定は第三以下の繼續用紙を用ふる場合に付之を準用す

第四十條 鑛業權共同人名簿に記載を爲したる場合に於ては鑛業原簿に爲したる登錄の末尾に鑛業權共同人名簿に於ける番號を記載すへし

第四十一條 鑛業權共同人名簿に共同鑛業權者の氏名及住所の記載を爲したるときは共同人名欄に於ける末尾の縱線を番號欄、代表者欄及備考欄に延長して餘白と分界すへし

東洋工業會議 大連側提出議案決定

【大連支社發】既報の如く滿洲に於ける東洋工業會議は主席代表井上匡四郎氏他工業學術界の權威者二十五氏の來滿により十一月五日—九日大連、十日—十二日新京十三日奉天の日程を以て開催されるが大連工業會では二十八日午後一時より幹事會を開き大連に於ける會議には『滿人工業勞働者の能率に就て』と題する議案を提出し、出席者は渡邊工業會々長、國吉同幹事の二氏に決定した

金丸奉取專務 辭表提出

【奉天國通】證券僞造事件に連坐した奉天取引所信託專務金丸富八郎氏は事件が一段落をつげたので責を負ひ今回辭表を提出したが十一月十五日臨時株主總會を開き正式に決定する筈である

大連麻醉劑竊取事件 豫審終結

【大連國通】關東州地方法院の廷丁兼會計係倉庫番と前大連市會議員外四名とが內外の連絡を保ち、昭和六年九月以來去る五月迄に亘る五ヶ年間證據物件として押收保管に係る麻醉劑竊取を企てた事件は當時社會の耳目を聳動せしめたが同事件は去る七月以來地方法院豫審に附され小田判官により一味六名の取調べ審理中去る廿五日豫審終結公に附される事となつた、右事件に依つて地方法院の蒙るべき被害額は麻醉劑で二十三萬六千三百五圓七十六錢になつてゐる一味の罪名左の如し

竊盜並麻醉劑取締規則違反 元關東州地方法院廷丁兼會計係 梯 儀輔

同 前市會議員 五十崎 正大

關東軍參謀竊物故買並に麻醉劑取締規則違反 新京日本橋通貸家業 藤田與 [illegible]

同 石川縣金澤市鷹匠 無職 堀 春 [illegible]

麻醉劑取締規則違反 大連市霧島町賣藥業 宮田 [illegible]

商況欄 （十月卅一日後場）

金銀市況

●上海標金
前引 二四、五〇
本寄 二九九、〇〇
歩 [illegible]

●大連金鈔票
寄付 一三三、〇〇
引 一三三、八〇
高 一三三、四〇
安 一一〇、六〇
出來高 六〇万

▲十一月十三日限 十一月二十八日
寄付 一三三、四〇
歩 出 不

●大連鈔票銀大洋
引 一、二〇
高 一三、九〇
安 一三、五〇
出來高 一一〇、六〇

現物 [illegible]

●大連鈔票銀大洋
現物 一〇〇、〇〇 一〇〇、〇〇

▲十一月廿八日限
寄付 出 來 不
引
高
安
出來高

爲替相場

▲上海爲替
▲日本向
第一回 賣買 一〇八、八〇
第二回 賣買 一〇八、九〇
第三回 賣買 一〇七、八〇

▲倫敦向
第一回 賣買 一志五片一
第二回 賣買 一志五片一
第三回 賣買 一志四片一

▲紐育向
第一回 賣買 三一弗
第二回 賣買 三一弗
第三回 賣買 三一弗

▲大連爲替
▲上海向
九九、五〇 九九、六〇 九九、〇〇 九九、一〇 九九、四〇
▲煙台向
一〇五、〇〇 一〇六、〇〇 一〇一、〇〇 一〇二、〇〇

株式相場

▲大連株式（短期）
寄 引
五品新 一六、六〇
豆鈔新 二一、一〇
鐵新 一六、五〇
東新 二一、五〇
滿鐵新 一四、五〇
二新 三〇、五〇
日産 三五、七〇

▲奉天株式（短期）
寄 引

各地市況

滿取新 一七、五〇
東新 一六一、〇〇
鐘新 一四一、〇〇
日産 七八、五〇
大新 九七、〇〇
五品 一六、八〇
豆甲 三三、五〇
電乙 一六、四〇
同 [illegible]
滿鐵 六〇、七〇
東拓 一五、〇〇
東亞 九、八〇
日魯 三七、五〇
滿興 三五、五〇
滿毛 一七、〇一
二新 二五、八〇
優先 一七、五〇

●横濱生糸
當限 八九〇、〇〇
先限 九三三、〇〇

●哈爾濱大豆
十一月限 一、一〇〇
十二月限
一月限 一、一〇〇
出來高

●同 小麥
十二月限
十二月限
一月限 一、四〇〇
出來高

●神戸豆粕
十一月限 四、一〇
十二月限 四、一〇
一月限 四、〇八
二月限 四、一〇

新京取引所市況

鈔票對金票
十三日限 二十八日限
寄 一二、三〇 一二、三〇
引 一二、一〇 一二、一〇
出來高 一万千 一万千

國幣對鈔票
十三日限 二十八日限

手形交換 （卅一日）

	枚數	金額
金票	三四枚	三七、九八五元
鈔票	二枚	五〇、六六四元
國幣	二九枚	一三、八七〇元

鮮魚小賣相場

百匁ニ付（卅一日）

品名	最高	最低
活タイ	一、〇〇	八三
氷タイ	...	...
チヌタイ	...	...
アマタイ	九八	七二
中小タイ	二二	〇〇
カツオ	三四	一〇
ダツリ	四六	三二
ヒラス	三二	二〇
サワラ	九九	二二
サバ	一一	一四
アジ	一〇	六
カレイ	二四	一三
ヒラメ	一八	一三
ボラ	[illegible]	[illegible]
コチ	二四	一八
コノシロ	四八	四〇
キス	...	...
イワシ	...	...
マナ鰹	一四	...
タチウオ	...	...
トビウオ	...	...
ムツ	...	...
サヨリ	...	...
カナ頭	...	...
ホーボー	一〇	八
タコ	一六	一三
甲イカ	二三	一四
水イカ	四八	二四
イセエビ	...	...
車エビ	九〇	三六
ヂナゴ	五八	三八
カイマキ	二八	一
ナマコ	...	...
アワビ	二五	一五
カキ	〇〇	六
シジミ	七〇	三
カマボコ	二一	一五
チクワ	六四	一四
マグロ切身	一本	五
ニシン	一本	四
ブリ	一七〇	...
サラ	三二	五
ヒラメ	五五	一六
同	六五	〇

討匪從軍行（八）

幾多犧牲者の尊き片影に記す

母の寫眞を懷中に ＝片岡伍長＝

曩に王家屯に於て亞東洋の合流匪を擊滅すべく拂曉の奇襲を行ひ多大の損害を與へ我方も赤梅鉢部隊長以下多數の尊き犧牲者を出した中の一人として戰友の等しく畏敬と同情の念を捧げてゐる原籍廣島縣廣島市出身片岡隆司伍長は故國に只一人待つ母を殘して昭和九年一月廿日步兵第○隊に入營し同年四月滿洲駐屯の重任を帶びて渡滿し、爾來繁雜なる警備の諸勤務をも意とせず

常に 積極的活動を續け成績拔群であつた、尊き犧牲となる迄戰鬪に參加すること十三回に及び常に部下を激勵掌握し先頭に立つて奮鬪を續けて偉功を樹てて來たが此間に於ても故國に殘る唯の慈母に對して絕えず寸暇を利用して音信を行ひ討伐に際しては慈母の寫眞を肌身離さず懷にし、母も共にいます心もて常に活動を續けてゐたがこの孝心には隊長以下戰友に至る迄齊しく感動し軍人の

龜鑑 として上下からの信頼を一身に集めてゐた、然るに十月十三日王家屯部落に據る亞東洋匪を奇襲して頗る勇猛果敢なる戰鬪中不幸敵彈は胸部を貫き天皇陛下萬歲を叫ぶと共に名譽の戰死を遂げたのであつた

衛生保持への努力 有原三等看護兵

同じく王家屯の亞東洋匪を殲滅すべく奇襲を敢行した梅鉢部隊の看護兵として隨行藤田○隊長が敵彈に打倒れるや直ちに彈雨の中を馳寄り手當を加へんとして繃帶を取出した儘敵彈に頭部を打貫かれ○隊長に折重なつて名譽の戰死を遂げた三等看護兵有原義秋君は故鄕大阪に父なき

あと を繼ぐ令兄渉氏より絕えず激勵の手紙を受けて一意軍務に精進し戰鬪員の活動を助け轉々たる討匪行の間惡疫流行食物不純の間にも拘らず隊の衛生保持に努め一名の病者も出さゞる好成績を收めてゐたが不幸兇彈に斃れ戰死したのであつた

北滿

日本の對カ報復關稅で ハ市製粉立直る

保護政策にも重大な示唆

【ハルビン國通】昨今の關稅改正、日本の對カナダ報復關稅によつてハルビン製粉界は漸く立直りの氣配を示しつゝある事は昨年度（昨年十月から今年九月まで）の生產高に明瞭に反映して來た、即ち同期中の生產高は五百四十四萬二千袋でこれを前年同期の四百四十九萬二千袋に比すれば九十五萬袋、廿一パーセントの增產となつてゐる、これが消費は市內二百萬袋、沿線及び南下三百萬袋で從來の市內六、移出四の割合から市內四移出六の割合に進んで居りこれは國內粉が外國粉と競爭しつゝ漸次販路を廣めつゝある證左であるのみならずハルビンに於ける農作物加工工業、油房、アルコール、砂糖、ビール等が何れも業態不振である際製粉の立直りが將來當局の保護政策にも重大な示唆を與へて居るものと觀られる

“生地獄から”ソ聯脫走農民

國內事情を語る

【ハルビン國通】既報、廿八日ハルビンに辿りついたソ聯脫走農民四十五名は罹災民救濟所に平和な一夜を明かしたが記者に對し彼等はソ聯內に於ける官憲の壓迫を逃れ死を決して脫國を決意するまでの事情を左の如く語つた

私等はイマン附近で若干の資本を有し農業に從事してゐたが官憲の壓迫は日に日に加はり遂には土地財產も

沒收 されてビギン附近ドロシドントフカの極東製材工場に追放され强制勞働の下に虐待を受けて居た、勞働時間は夏十時間、冬八時間、賃銀は百卅留乃至百五十留を給されるが物價がパン一斤一留四十コペーグ、馬鈴薯一プード廿留もするのでこの賃銀ではパンを買へば無くなりあまつさへ賃銀の五パーセントを上納金としてゲ・ペ・ウに徵收されるので到底一家を支へる事は出來ず唯一の心の慰安である宗教でさへも奪はれて此の生地獄の生活に耐へ兼ね遂に九月十八日夜脫國を敢行するに至つた、當夜ウスリー河の支流に繫いであつた製林工場の五隻の小舟に分乘豪雨を衝いて暗夜のウスリー本流に出で十九日晝はゲ・ペ・ウの監視の目を掠めて岸邊に茂る草葉の蔭に潛み夜に入つてウスリーを橫切つて漸く青海鎭に辿りついた

官憲 の壓迫の下にあるソ聯民衆は彈壓を恐れて表面平靜を裝つて居るが心は等しく反抗の炎で燃へて居る、滿洲國入國後官憲の取扱ひに就いては感謝の言葉もない、近く撫河、敎化の親戚を賴つて同地で更生の生活を營み、尙王道樂土の滿洲國の土となりたいと思つて居る

從來ソ聯官憲の壓迫下に耐へかね死を賭して脫國滿洲國に入國し來つた露人は多數あるが八家族あげての脫國は今回が最初で彼等の言葉こそソ聯內の虐待振りを物語つて居るものである、【寫眞はハルビン罹災民救濟所に收容され脫國ソ聯農民一行】

タクシー業者の組合結成促進

經營を擁護、福祉增進を計る

【ハルビン支局發】哈爾濱警察廳では哈爾濱市內に溢れてゐる流しタクシーの統制問題については、保安科が中心となつて根本對策樹立に就いては銳意調査をすすめてゐるが今回滿露人のタクシー業者を對象として、之に强力なる同業者組合を結成して、業者自身によつて營業經營の圓滑を期せしむることとなつた

即ち現在の滿人流しタクシー業者は台數にして二百台その業態は個人經營のもので一ヶ月約二百四十圓の稼高があるが、この內から稅金、償却費、ガソリン代を控除して約六十圓の實收入外にタクシー業者から車を賃借して稼いでゐる者は、傭主が食事代を負擔して一ヶ月約三十圓見當の給料で働いてゐる現狀である

警察廳の意向としては、彼等タクシー業者の經營を擁護し福祉增進を計るを以て組合結成の主旨としてゐるが、組合結成の曉においては組合自體によつて

一、事故防止に努力せしめる事

一、現在使用してゐる古自動車は可及的速に新車に替へしむるやうに組合で斡旋させる事

一、組合は基金を積立てゝ組合員の相互扶助に努力する事

などを組合結成の基礎條件にする筈で近く同業者を招き警察廳側の腹案を示して折衝を開始する段取りとなる模樣である

京濱線の旅客列車增發

【ハルビン支局發】哈爾濱鐵路局における濱綏、濱洲兩線は現在のまゝの客貨列車で貨客輸送には充分であるが、これに反して北鐵接收以來頓に客貨の輻輳をみるに至つた京濱線は、現在運轉せる五本の旅客列車をもつては充分に賄ひ得ざる狀態にあるので、運輸課を中心として十一月より更に旅客列車一本を增發すべく調査研究をつづけてゐたが貨物列車との振合關係よりこれが實行不能に陷るに至つた併し現在運轉の四本のみでは旅客は勿論貨物輸送に多大の支障を來たすことは明瞭であるため來春早々二本の旅客列車を增發し、豫想される支障を除去し、輸送の圓滑を期すべく目下これが實現のため銳意研究準備をすすめてゐる

南滿

大連市長後任 丸茂氏に決定す

反對派悉く寢返へる

【大連支社發】大連市長の後任は極めて突然の間に滿鐵側及明政會等の推薦して居た丸茂藤平候補に決定した、市中側市會議員の革新、同志會兩團體も苦もなく丸茂候補を推薦する事に屈服した、大連市政實施以來かくも簡單明瞭に市長選擧を無雜作に行ふことゝなつたは恐らくは今回の丸茂氏推薦が嚆矢であらう、卅一日午後二時から市會議員協議會を開き丸茂氏推擧を決し一應在京の丸茂氏の意向を聞き合せて其の回答を得次第市會を招集して遲くも五、六日頃に選擧市會を開く筈であるが、全員一致贊成と云はれて居るけれども三四名の議員は反對の意志を含み缺席するならんと傳へられて居る、今後に殘された問題は明年一月末日を以て任期滿了となる岡野助役の進退であつて若し丸尾市長が意中の助役候補者を有するならば岡野助役は困難なるも市會議員中には市政擴充を契機として助役二人說を有する者多く若し明年度より助役二人說が實現する場合には現岡野助役を再任せしめ他の一人は新市長の手にて其の新任せるものを任用するが萬全の策であると云をれて居る

無裝荷ケーブル線落雷 電氣學界に波紋

過般安東—鳳凰城間に完成を見た日滿通信網の大動脈たる無裝荷ケーブル線に最近の降雨で落電し多大の損傷を受けたことが判明し電々當局は勿論のこと電氣學界に一大センセーションを捲き起してゐる

該ケーブルは地下四尺に埋設してあるもので從來の電氣學定理よりするは絕對に落雷の事實を認容し難いものであるが損傷個所の學理的實驗の結果は落雷と見るより他なきもので、斯くの如きは先年獨乙に一回あつたのみで東洋では始めてのことである

遞信省よりは無裝荷ケーブル權威者松前技師が飛行機で來連二十九日直ちに現地に急行したが滿鐵沙河口實驗所でも岩竹技師が主となり高壓電氣實驗を行ひ前代未聞の珍事の解決に努力することになつた

東滿

「締切り間際に」突如名乘り擧る 定員突破・激戰へ

附屬地安全地帶全く覆へる

【敎化支局發】民會議員改選發表當時は立候補者の下馬評餘りに多數あつたため期日切迫につれ相當の激戰を展開するものと各方面から注意されてゐたが、意外にも當初の豫想に反し締切日二十八日午前中迄に正式屆けられたもの定員十名のところ僅か六名であつたので民會は勿論當局も非常に憂慮し、治外法權撤廢に伴ふ課稅金問題をはじめ小學校々舍新築擴張問題が道路問題等、在留民に直接利害關係を有する重要時期に直面してゐる秋なので在留民の政治思想を各方面より非常に注意されてゐたが夕刻に至り突如附屬地側より、伊部武二、吉岡龍作、小森茂、牧野入、永松成幹の五氏くつわを並べて出陣し夜に入つて料理店組合、飲食店組合よりカフエー巴の主人渡邊彦勝氏が飛び出し、定員を超過すること二名となつたので愈々各立候補者の選擧事務所は緊張し出し、文書廣告の激戰を展開し「淸き一票は我等の代表へと」在留民の叫びは實に物凄くなつて來た今のところどの候補者が有勢か當選圈內にあるか豫斷出來ず最も安全地帶と豫想されてゐた附屬地の立候補者は大地盤上にひびが入つたので選擧戰線に異狀を來した樣である。最も有權者の少ない東門外より立候補した飯田正廣、宍戶保兩氏は我不利と見て必死になつて各方面に亘り叫びかけてゐる

他の町內より早く名乘を擧げ小東門の立候補者小林純吉、福原與吉、山名武、大原丑太郎の四氏は早や運動の一段落を了し最後の秘策を凝らしてゐるが夜中に飛び出した立候補者渡邊彦勝氏は同業者を地盤として各有權者に必死の運動をつゞけてゐるので氏の當落は非常に興味を呼んでゐる

阿片栽培に代る 馬鈴薯と煙草

間島省公署で銳意研究中

【延吉國通】間島省に於る阿片の栽培は窮乏せる農村を潤すところ多く本年度に於る出廻りは約二萬圓に上ると見られてゐるが過般中央政府の意向で突如これが栽培を禁止せらるるに至つた、右禁止の理由は治安關係によると見られてゐるがこれが爲め農民の受ける打擊に代る收益の多い作物の獎勵につき銳意研究中であるが差し當り馬鈴薯及び煙草を獎勵すべく實業科に於てこれが苗及び耕作法につき研究を續けてゐる

大橋愛護村民の大手柄 列車襲擊未然防止

【吉林國通】去る廿九日午前六時頃京圖線附近に集結し驛及び列車襲擊を企圖せる匪首于甲長以下百名の匪團は密偵を派して鐵道沿線の警備狀況を窺はしめつつあつたが偶々大橋愛護村民張、華、文の三名がこれを聞知しいち早く同村警務分署に通告し來つたので木部巡長は直ちに眞否を確め敎化警務段よりの應援を得て民家に潛伏中の該密偵二名を難なく逮捕、一方討伐隊は于甲長匪の虛をつくべく勇躍出動した、この愛護村民と木部巡長の機敏な行動は各方面から賞讚されてゐる

今村小尉等の記念碑竣工

【吉林支局發】本年三月二十一日より當地方に於て防空演習の擧行せられた際、同二十二日午後八時頃吉林爆擊のため新京方面より飛來せし重爆擊機が機關故障によりて墜落し今村少尉、吉村特務曹長以下五名の搭乘者が遭難殉職した事は今猶市民の記憶に新たなるところであるが、其後飛行隊の戰友等はこの五勇士の靈を慰めるべく相謀つて遭難地點に記念標を建設中であつたが、それが愈よ竣工したので、三十一日午後十時飛行場東南方の遭難地點記念標處で慰靈祭を執行したが、日滿官民多數の參列があつて追憶の淚を新にしたのであつた

家庭

お母さん方に大切な 育兒の心得

添ひ寐・抱き方・入浴・寐せ方

産科婦人科 鈴木病院 鈴木博士・記

一、添寝と抱き方との注意

乳兒の添寢に溫度を保つ上からは湯婆や懷爐の遠く及ぶ所ではありません然し又これに伴ふ不安も輕視することは出來ません云ふまでもなく母親の無智と不注意が原因でありますが母親自ら可愛い子供を乳房で壓殺することも非常に多いのです。其の外添寢は勢ひ抱き寢になりますからつまり寢ながら添乳することになつてそれがために授乳時間や分量等が不規則になります。夜泣きの習慣はその抱寢が原因することがあります。

尙添寢をせず湯婆によつて溫度を保たしめる場合に於ては乳兒に火傷を負はしめない樣又溫めればよいと云ふので過度に溫度を與へぬ樣御注意下さい次に抱き方ですが生後三四週間は寢かせて置くのが一番安全です只その場合注意すべきは仰向に寢かせて頭を一方づけないことであります。右に傾し左に偏すると頭が歪んで醜くなります。

抱いてよいのは生後一ヶ月目頃からです、其の場合には骨も首筋もしつかりしない赤ん坊を人形でも抱へる樣に眞直に抱くのはよくありません。一幅布の二尺五寸位布團に小兒を寢かせその布團ごと抱へて頭の方を少し高くする位にして靜かに歩くことが最もよいのであります。又胸を壓へない樣にすることが肝要です。

二、赤ん坊と入浴上の注意

赤ん坊の體は新陳代謝の働が旺盛ですから大人よりもあかがたまりやすいものです、それで頭から顎のあたり或は脇の下や肱の邊り手足の指の間などはすぐ不潔になり勝ちでありります、其れが爲ただれやすいものです、それで赤ん坊には度々風呂に入れてよく洗つてやることは赤ん坊の體を强壮にするものであります、赤ん坊の不健康はすべて不潔にした結果ともいへるのです生れて三ヶ月目迄は特に毎日お湯を使はせることが良く百日後からは一日おき位にします。尙入浴の方法入浴後の授乳時間御湯の溫度等についても申上げたいと思ひます

三、赤ん坊の眠らせ方

赤ん坊をよく眠らせるには只暑くなく寒くない程度のものをかけて眠らせるのがよいのです。それにはかけるものを考へなければなりません。暖くするにも上には輕くて暖いものをふわりとかけてやり敷布團を厚くしてやることが何よりも必要であります。重いと眠りません、寒い頃等赤ん坊に山のように厚く布團をかけてやるのは最も不心得であります。清潔でさへあれば、そして保溫に充分なものであればよいのです何も結構な模樣のついた布團を用ひる必要はさらさらありません。これは母の心得の一つであります。

赤ん坊の枕は餘り高くないものを用ひなければいけません大人の用ひるような丸筒型にこしらへて砂やもみがらの樣なものを入れるよりも綿を入れてふわりとしたものを當てさせるのがよいのです、枕を全々しなくては寢苦しくなります。

又赤ん坊はきつと暗い方に向かせて眠らせるのがよいのです、でないと眠りつきません勿論眠つてから先は時々向をかへさせないと頭と顔が歪みますからお母さんの方で注意してやらなければなりません

演藝放送新人募集 募集種目追加

締切延期・十一月十日に

廣く民間一般の隱れたる藝術家を世に送り出し、新京演藝界の啓發、延いては滿洲文化向上の一端に資すべく、本社では既報の如く、新京放送局新舍屋移轉を記念して「演藝放送新人募集」を企畫發表したが、果然この企畫は一般の欝勃たる要望に投じて、發表後旬日を出ずして應募者續々と踵を接するの盛況を呈するに至つた、こゝに本社はこの盛況に鑑み、且つは一般の切々たる熱望もあり、既報第一回募集締切十一月三日を十一月十日に延期すると共に、長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談、漫才、聲色、七種の募集種目に新に俚謠、詩吟、尺八、端唄、流行小唄の五種目を加へて、劃期的この企てに更なる多彩絢爛の賑ひを期することになつた冀くば新人の誘拔擡頭がこの眞摯なる意圖の下に着々實現、意義ある華麗の實を結ばんことを待望するものである

第一回募集規程

一、申込希望者は職業人、非職業人を問はず年齡十六才以上の男女であること

一、希望者は希望種目を明細に記し出演希望書に履歷書(演藝に關する)を添へ「新京永樂町新京日日新聞社」宛御提出下さい

一、詮衡の日時場所は追つて本紙上に發表します

一、出演申込は必ず希望者自身に限ります、伴奏は希望者において取り決めること

一、合格者は新京放送局から放送を御依賴します

一、申込者氏名は發表せず、合格者氏名だけ發表します

一、詮衡委員氏名は詮衡當日發表します

一、募集種目は長唄、義太夫、小唄、浪花節、琵琶、漫談、漫才、聲色、俚謠、詩吟、尺八、端唄、流行小唄の十二種でその他のものは第二回(來る十二月の豫定)に讓ります

一、第一回募集締切りは十一月十日です

主催 新京日日新聞社

明治節に開かれる 刀劍展に就て(下)

幹事 濱田豐樹
同 小澤禎吉郎

日本刀は熟々これを觀察する時は淸らかな沸、匂の躍動せる樣は生きた動きを發現してゐる。その水も滴る如き皎々たる光に接する時自ら腋下に涼風を生じ襟を正すものありまたその姿は强く何物をも斷御するの勢あり、その形が整つて直ぐ正しく默々として威あり、邪を破り正を顯はし、これを鞘に收むれば靜かにして無きが如く、常に心に名劍を藏し、精神を養ひ拔かざれども恐るべきものなし、一度鞘を拂へば活殺自在なり

明治大帝の御製に

身にはよし佩かすなりとも劍大刀磨な忘れそ大和心を

神洲日本の武は劍にして活劍なり、神劍の發動ない、心醜なく荒ぶる人々、有形無形にもスパリと切つてこそ救ふ術もあり、殺してこそ生かす途もあり、世界を救ふ劍大刀、腰間に空しからず、帶びざれども心に藏して光を失はず大和男子の本分はこゝにあり、天の使命である

◇……◇

來る十一月三日明治節の佳き日に大帝の御稜德を偲び奉り、傳家の寶刀護水の秋水を陳列して、精神作興の一助とし、日本刀劍武具展覽會を催す、作の高下を問はず品位を論ぜず、上述の精神に則り、本社の意義を達成せんとするものなればこの趣旨に贊せられ各方面多數の御出品をお勸めする次第である

お料理獻立

肉うどん

お寒さも身に沁むやうになりました、冷えこむやうな夕にはうどんの熱いのを拵らへますと御家族に喜ばれますから申上げませう

【材料】(五人前)玉うどん十ヶ、豚の三枚肉薄切五十匁、葱七本、辛子少々、煮出汁昆布五寸位、酒、醬油、鹽、砂糖、煮出汁——適量

うどんは水をかけてザルにあげ、昆布を敷き煮出汁を入れ豚肉を入れ、酒、鹽、醬油砂糖で味をつけ、うどんを入れ一寸位に切つた葱を入れて煮うどんがすきとほつたら器にとります。

けふの番組

(M・T・O・Y 新京放送局 一日(金曜))

官幣大社熱田神宮遷座祭記念放送

(朝)

- 六、三〇 建國體操(滿語)
- 六、五〇 ラヂオ體操(東京)
- 七、一〇 入港船の御知らせ(大連) 氣象通報(東京)
- 八、三〇 子供の時間(東京) 十一月生れの偉人 偉人物語 中田千畝
- 九、〇〇 講演(名古屋) 明治天皇の熱田神宮御崇敬 明治神宮々司海軍大將 有馬良橘
- 九、三〇 講演(名古屋) 熱田神宮御遷座祭を奉祝して 內務大臣 後藤文夫
- 一〇、一〇 子供の時間(滿語) 講話
- 一〇、四〇 清唱 法門寺 新京特別市自强小學校々長 楊世禎 老生 鴻聲 胡琴 譚金聲 二胡 李樹元
- 一〇・五九 時報(東京)

(晝)

- 一一、三〇 ニュース(東京)
- 一一、五〇 漫談(東京) 十一月の暦 西村樂天
- 〇、二〇 琵琶(東京) 安田希山
- 〇、五〇 荻江節(東京) 紅葉狩 荻江すゞ子
- 一、二〇 第八回明治神宮體育大會(東京) (一)陸上競技實況=明治神宮外苑競技場より中繼= (二)劍道試合實況=日本青年館より中繼=

○備考 1後二、五〇市況後、三、〇〇ニュースの時間には中繼す 2中止の場合は一、二〇に講談(東京より)を編入す

- 二、五〇 經濟市況(東京)
- 三、〇〇 ニュース(東京)
- 五、〇〇 子供の時間(名古屋) ラヂオスケッチ 御遷座まつり 名古屋童話劇團聯盟 村岡花子
- 五、二〇 コドモの新聞(東京)

(夜)

- 六、〇〇 ニュース(東京)
- 六、二〇 今晩の番組、氣象通報、明日の番組
- 六、三〇 國民の時間 火藥類取締に關する法令の公布に際して 民政部警察司長 長尾吉四郎
- 七、〇〇 清元 忍逢春雪解(三千歲) 淨瑠璃 清元千歲太夫 三味線 彌生吉香
- 七、二五 漫才(大阪) 若しもお金を儲けたら 林田五郎 芦の家鴈玉
- 七、四〇 俚謠(松江) 佐陀神能 島根縣八束郡國幣小社 佐太神社伶樂部員
- 七、五〇 熱田神宮御本殿遷座祭實況(名古屋) =熱田神宮域より中繼=
- 九、〇〇 時報、ニュース(東京) 引續きニュース、氣象通報 番組豫告(滿語)
- 九、三〇 舊劇(哈爾濱) 打龍袍 董瑞麟 外九名
- 一〇、〇〇 北滿の時間(露語)(哈爾濱)

森嚴神ながらの儀式 熱田「神宮」遷座祭實況

アナウンサーボックスを設け C・K苦心の中繼放送

前後四日間の長きに亘る諸儀式七祭典の中より、本遷座祭儀の中心をなす御羽車假殿より新本殿着御まで凡そ一時に及ぶ森嚴莊重なる御行列の御模樣を謹叙し奉らんとするもので

△午後八時五十分より十分間は解說アナウンス

△正九時畏くも先回には宮中に於かせられて特に御遙拜遊ばされたともれ承はる御羽車出御の瞬間より御通過筋雨儀の廊下に裝備を許されたる吸收マイクロフオンの活動と、神樂殿西方鬱蒼たる樹間、御行列を咫尺の間に拜觀し奉る個所にまで參入を差許されたるボックス內のアナウンスと相俟つて、御行列のかそけき御道樂、沓の音、衣ずれの音響等を拜寫しつゝ、庭燎全く消えわたりたる神ながらの淨闇の中を御羽車が進ませらるゝ實況を謹叙し

△午後九時五十五分新御殿入御をもつて打切り最後の五分間に爾後の諸神事の御概要を略述して放送を結ぶ豫定である

アナウンサーボックスは特に放送用として設計されたるもの、防音裝置及或種の擬裝を施して當夜の神域の空氣を冒瀆し奉らざる事を充分顧慮したものである。なほ擔當アナウンサーは牧偵氏である【寫眞は熱田神宮】

清元千歲太夫が本格的の獨吟

"一日逢はねば千日の……"

後七時よりの清元「忍逢春雪解」

清元千歲太夫さん

今晩の清元千歲太夫師は一般高輪の師匠で通る近來の名人清元延壽太夫唯一の高弟で、一時は其の美聲を謳はれ師と共に又は別個に東京各大劇場に出演され、後喉を痛めてから劇場側と關係を斷ち專ら後進の指導に當つて居られましたが、今春三月に渡滿され現在は富士町で一般に教授して居られます。今晩出し物は三千歲で獨吟ですが、本格物、定めて聞き物でしやう。

三味線 彌生吉香

【解說】この曲は河竹默阿彌が明治十四年新富座三日狂言に河內山を增補して「天元上野初花」名題を据ゑた時、入谷にある大口の寮直侍が三千歲に逢ひ來る色模樣に使つた淨瑠璃で、役々は、直侍(五代目尾上菊五郎)三千歲(八代目岩井半四郎)丑松(五代目市川小團治)金子市之亟(先代市川左團次)作曲は清元お葉出語りは、四代目延壽太夫、千代太夫、喜和太夫、三位梅吉、德兵衛、梅次郎であつた默阿彌はこの時未だ河竹新七と名乘つてゐたが、この年の十一月「島衛」を書いて「雁金」(お葉節付)を最後に隱退し默阿彌と名乘るに至つたのである。

◇……◇

「冴え返る、春の寒さに降る雨も、暮れて何時しか雪となり、上野の鐘の音も凍る(合)細き流れの幾曲り末は田川へ入谷村「廓へ近き畦道も右か左か白妙に(合)往來のなきを幸ひと(合)人目を忍び佇みて(合)直次郎詞「思ひがけなく丈賀に出會ひ、賴んでやつた先刻の手紙、モウ三千歲の手へ屆いた時分、門の締りが明けてあるか、ソット門からあたつてみやうか「雪をよすがに直次郎(合)たしかに爰と目覺えの門の扉へ立ち寄れば、風に鳴子の音高く(合)驚の折から新造が燭携さへ立出で千代鶴詞「大方此の邊へ直はんが千代春詞「ア、モシ靜かにしなましよ「さし足なして千代春が、扉へ寄りて聲ひそめ 千代春詞「さういふ聲はますか直詞「千代春さんか千代春詞「早く此方へ這入なましよ「氣轉利かして奥と口、互ひに心合鍵に扉を開けて伴ふ折柄、門の外には丑松が、內の樣子を窺ひて、一人點頭き雪道を、飛ぶが如くに急ぎ行く(合)晴れて逢はれむ戀仲に(合)人に心を奥の間より、知らせ嬉しく三千歲か飛び立つはかり立出でゝ、譯も涙に縋りつき(合)千代春詞「花魁 千代鶴詞「直はん 千代春詞「此處でゆつくり 新造二人詞「お斷しなんしえ「廓に馴れたる新造が話の邪魔と次の間へ、粹を通して入りにける「跡に二人差し合も涙ぬぐうて三千歲が恨めしさうに顔をみて 三千歲詞「僅に別れてゐてさへも「一月逢はねば千日の思ひに私や患うて、針や藥の驗さへ、泣の涙に紙ぬらし(合)枕に結ぶ夢さめていとど思の十寸鏡(合)「見る度毎に面瘦せて、どうでながらへ居られねば、殺して行つて下さんせと、男に縋り歎くにぞ 直詞「今更言つて返らぬが、惡事をなしてお仕置を、受ければ先祖代々の、墓へは入れぬこの身の上、回向院の下郎へ俺の墓を建てゝくれ、コレがお主(おれの賴みだ「是が賴みと手を取りて、倶に涙に暮れにける「男も愚痴にからまれて、持て余したる折柄に(合)始終を聞いて寮番の、喜兵衛は一間を立出でゝ 喜詞「かういふうちにも寸善尺魔、障りのないうち早くお逃げなさませ、サア〳〵と言へど此方は水鳥の浮寢の床の水離れ、葭蘆原を立ち兼ぬれば「實に樞山の悲しみも、斯くやと許り降る雪に、積る思ひぞ殘しける。

彌生吉香さん

神々の傳說に因む 俚謠佐陀神能

▽……後七時四十分 松江より中繼

島根縣八束郡佐太村國幣小社 佐太神社伶樂部員
指揮……小澤浩

此佐陀神能は出雲(神在月)(他國では神無月)の御忌みまつりの本家たる島根縣八束郡佐太村鎭座の國幣小社佐太神社に發祥したもので、慶長七年に佐陀(佐太)大社の上官、注連(しめ)幣主(へいぬし)の兩祝(りよむはふり)の社家が相寄つて祭典の餘興として十二段の能舞を制定して神典及び諸社の緣起を資料としてこれを能樂的に脚色し、毎年九月二十四日の夜半此社の御座替祭に七座の神事に付して舞はしめるもので、此「大社」は毎年神在月の神秘の一として海神の使者として此佐太浦海岸へ出現する「龍蛇」の靈異と神社の緣起とを演べたもので上下二段になつてゐる。

◇……◇

「天地分けし其かみの〳〵御社詣で急がん「抑々是は當今に仕へまつる臣下なり、さても出雲の國佐太の社こそ神秘ある由君聞こしめし及ばれ我等に參詣せよとの宣旨を蒙り候程に此度思立ち出雲佐陀の社へと急ぎ候「旅衣猶立ち重ね行末の船路のどけき道のべの、しばしやすらふ方もなく、出雲に早く着きにけり「急ぎ候程に出雲佐陀社にも着いて候此處に暫らく逗留いたし社の御神秘くはしく尋ねばやと存じ候「伊諾や伊册の世の予の露國となりては久しかるべしと詠じさせ給ふ折からに臣下一人來らせ給ひて「されば當社へはじめて參詣の者也宮人にても座しまさば當社の御神秘並に神在月の仔細くはしく御物語り候へや老仁「詳しくかたり申すべし「それ當社と申すは天地開闢の曩祖伊諾伊册の尊にて在はせり既に陰陽相分つて木火土の精伊諾となり金水の精凝り固りて伊册と現はれたり「國民を守らんとこの所に地を示し三つの社を建て並らべ伊諾伊册は中の社と思し召せ、左の社には天照神に月の神、右の社にはヒルコ、須佐乃男是なりと、此神をはじめとし八百萬の神數に集り給ひけるとかや國を造らん神心照りかゞやけり末がけて……さらんばといふて老仁は鳥居の笠木に立隱れかきけすやうに失せにけり「新たに御殿の鳴動して玉の簾のそのうちよりは金色の光射し神體これまで現れたり「玉垣やく現はれ出づる神姿これこそ千代のはじめなれ「不思議や黒雲立騷ぎ雨風騷ぎ虛空に音樂聞へつゝ龍神これまで現れたり「その時龍神寶の御函を押開き五色の美蛇を捧げ奉れば即ち神は受け取り給ひ八百萬代の神の父母我ぞと言ふて佐太の宮御殿に入らせ給ひけり

(寫眞は佐陀神能の實況)

放電

廿八日夜の「慰問袋は唄ふ」はわりに娛しく聽けた、良い思ひつきと大衆性があつてしかも品の良さを失はなかつたのを採る▲九時からの滿洲舊劇近頃仲々いい、日本語で簡單な解說をつけたら一層いいと思ふ(O)

文藝

明治節奉祝劇　明治の御代と乃木將軍（一）

糸井光彌編作

此の脚本は明治節當日記念公會堂で行はれる教化聯盟主催の奉祝劇に使用されるものである

プロローグ

先生と子供

子供『ねえ先生今日は　今上天皇陛下のお祖父樣に當る明治天皇陛下の御生れになつた目出度い御祝ひ日なんですね

先生『さうだよく知つてゐるね

子供『そりやあ日本人の子供でこんな事を知らなかつたらなぐられますよ

先生『なぐられるはひどいね

子供『明治の御代には隨分たくさん戰爭があつたんですね先生

先生『さうだ……そのたくさんな戰爭で幾萬と云ふ勇ましい兵士達が戰死をして…そして日本の國は世界の大强國となつたんだ……今僕達がこうしてこの滿洲で威張つてゐられるのは第一は明治天皇と申す御方は世界に又とないえらい大明帝であらせられた事と、その明帝をいたゞく忠勇無比の兵士達が命を捨てゝ戰つたその賜物なのだ

子供『ね先生明治の御代の御話をもつと聞かせて下さい

先生『よし、それでは畏れおほい事だが明治天皇陛下の御一代御苦辛のお話と、明治時代の戰爭で最もはげしくもつとも澤山な戰死者のあつた乃木大將の第三軍旅順攻略の時のお話をしてあげやう

（暗轉）

柳樹房第三軍司令部

幕開くと暗黒の内に大砲小銃の音天に轟く……やがて中央にライト光りて粗末なるテーブルと椅子見える……やがて乃木將軍笑ひ乍ら副官と共に入り來る……。

將軍『分つたよく／＼もう危いところへは決して出ません

副官『それでは私どもの任務がつとまりません露軍は閣下の白ズボンにとうに注目してゐます、閣下の服裝は敵兵の目標となつてゐます

將軍『以後注意します叱らんで下さい

副官『閣下に萬が一のことあれば一軍の士氣は沮喪致します

將軍『分りました、而し只目のあたり敵の姿を見ないと何うもわしはその日一日氣色が惡いのぢや

副官『それに失禮ですが閣下は余り小さな事には御氣を使はれない方が……大切な閣下の御健康の爲にも……

將軍『さうぢやそれはわしも考へて居る而しな、どうもこれはわしの性格といふものぢやらうか、小さな事が氣になつてならん常に大局に考慮をまはすつもりぢやが小さな事がチョイ／＼心の中に顏を出して困りますそれでよくチョコ／＼するとかコセ／＼するとかよく叱られるがどうもいかん（笑ふ）

副官『閣下私は決してそんな意味では……

將軍『分つて居りますだがねわしは今もつて一兵卒の死を聞いても此心が强く痛みます戰死者何千人とあつてもわしの心は何千とい一まとめの感じはない一人一人のことを考へたがつて困りますよ

副官『（無言にて首をたれる）

將軍『一人一人の兵隊にも親もあるだらうし……子もあるだらうし……時にはわが子の死も考へるが同時に人の子の死は一層强く考へさせられます……。

（この時新聞記者磯貝下手より登場）

磯貝『閣下

將軍『ほうこれは君は磯貝君ぢやつたね今日は別に

磯貝『いや閣下私はもうぢつとしてゐられなくなりまして伺ひましたどうか聞かして下さい。

將軍『ほう何ぢやね

磯貝『（興奮して）軍は最近に於て第四回の總攻擊肉彈戰を試みられるやうに聞き……いや吾々には感じられますが、その期日はかなり切迫して……

將軍『これはまた大分無理な事を聞く人ぢやなあ……（思はず笑ふ）わしは第三軍司令官ぢやそのやうな軍機の大事を問はれてもそりや俗に云ふ比丘尼の髮ぢやほゝゝ……

磯貝『は？比丘尼の……??

將軍『分らんかなつまり云ひたひ事も云はれぬと云ふ言語のしやれぢや

磯貝『（少しむつとして）私の伺ふのは軍機の秘密ではありません將軍は第四回總攻擊を斷行なさるとしてこの度は幾莫の肉彈を敢て投ぜらる所存か、その數字の概算を承知したいのであります

將軍『（蛇つとなつて）何ですと？

磯貝『第一回の總攻擊に我軍の死傷者は一萬五千九百三十餘名と公表されてゐるが外國通信者は約二萬人と見てゐますそして第二回第三回とこの總攻擊の死傷者を總計しますと旅順攻圍軍の死傷者は實に二萬五千以上三萬の數を突破して居ませう、三萬の壯丁がこの戰爭に斃れてゐます

將軍『（ふしめに嚴そかに）はいさうであります

磯貝『それ等の死傷者は總て肉彈として投ぜられました然るに近代的防備と最新科學戰術をもつてする敵軍の要塞は依然としてその堅牢を失ひません第三軍編成以來殆んど半歲の難戰苦鬪を以つて得たる結果は……僅かに外線にあたる砲台數箇に過ぎない……旅順は依然として金城鐵壁傲然として露國々旗を宙天にひるがへして居ります。

將軍『（半ば嘆息して）……實によく死んでくれたと云ひ度いが將卒共に實によく……殺しました。

磯貝『閣下然るにあなたは更に第四回の肉彈的總攻擊を……

將軍『一言注意して置くがこゝは戰地陣中です大命を拜する司令官の任務遂行に向つては絕對に批評を禁止する

磯貝『批評ではありません新聞記者として御說を聽聞するので閣下は第三軍編成當時廣島の客舍に於て或人が旅順攻擊の策謀について質問された時閣下あなたは事もなげに一笑して「何旅順は栗だよ」と云はれたと聞きました內地各新聞は閣下の逸話としてそれを世間に報道しました

將軍『うむそんな事も云つた

磯貝『栗のイガはいかに嚴しく外部を防いでも時節が來れば內部から罅み裂れる時がある、旅順の戰爭もその如く外部から改めなくとも時節が來れば必ず內部から崩潰するものと將軍はじめ高をくゝつてゐられたのではないかと思ひます。

將軍『その結果は今どうぢやと云ふのか（微笑を含んで）我軍の行動を軍事的に批評すればいろ／＼の說があるだらう、我軍としても亦辯明を費せばその口實は立つかも知らん。既に獨逸の軍事研究家の結論によると第一に彼我の兵器の威力に於て著しい懸隔がある、野砲の力は彼の十に對して日本の砲力は五である、第二に我軍には完全なる旅順方面の實測地圖がなかつた、第三に日本軍には嘗つて一度も要塞戰の經驗がなかつた……そんな事を云ふ者もある、然しそれ等の研究論評は今こゝに問題ぢやない今のわしは今の乃木は戰つて勝てば好いのだ旅順を陷落せしむればいゝのだ……落とす……落とす……必ず落として見せる……（靜かに瞑目する）

磯貝『（或威に打たれて）無遠慮極まる事を申しました然しこれも國民一部の代表としての責任上御許し下さい

將軍『落とす……落とす……必ず落とす……。

（將軍靜かに上手へ退場……磯貝は暫くその後を見送つて居たがそつと目頭を拭いて急ぎ下手へ退場……舞台暫く空虛＝）

爆撃機　村山の「わが白痴」と一批評

村山知義八十枚の力作「わが白痴」（新潮十一月）について東朝豆戰艦の玉藻刈彥が

私は敏感すぎるのかも知れぬが、この「わが白痴」を讀み玉藻刈彥の批判以上に村山の、いはゆる轉向作家としての苦惱や、その眼のいま向けられてゐるところなどを察するのだ。ぼくにはそれは單なる「レヴュウ界の內幕」としてはすまされない。大してすぐれた作品とは思はぬが、少くともぼくの關心をいくらか呼ぶことはできた作品であつた（大內瞪雄）

レヴュウ界の內幕を取扱つてゐる。眼のうごきのすばしつこさだけでは、氣むづかしい現代人の感動は呼べない。主人公の一人稱形式もイージーだと評してゐる。大體當つてゐると言へよう。だが、ぼくは思ふのだが、われわれが作品を鑑賞する場合、一般にもつと素直な、虛心坦懷な氣持で讀むのが普通なのではあるまいか、そして「現代人の感動は」呼べずとも

中篇小說　生活の花　10

川內堯　カツト　池邊靑李

——これから、まあ氣を付けたまへよ！」

あつさり背中をたたかれて田中春夫は警察の門を出た。別におとがめにもならず（治安維持法違反のシンパとも認められずすんで）、會社の方もくびにもならずにすんだのは、春夫に取つて都合良かつたわけだが「なあんだ、なあんでもないじやないか」と自分で自分に苦笑したいやうな馬鹿な目を見たもんだとあきらめられることでもあつた。

京都のカフエにゐる滿子から、その后、又二度ほど手紙が來た。「若い大學生が來てね、面白いわ、一人氣前よくチップを呉れる、きれいな男がゐるの。あたしを好きになつてるらしいの」そんな本當とも知れず思はせぶりみたいでもある文句だけを覺えてゐる。

春夫のうへには、忙しくはあるが、平安な日日が過ぎて行つて、年も改まつた。その間に變つたことといへば、逢坂町の宮子が商賣をやめて、つまり「理解のある男に落籍されて」新京へ行つたことぐらゐであつた。

こゝで物語は一九三二年へとぶことになる。その年のはじめに、田中春夫は新京へ轉勤したのであつた。新京ですでに若奥樣然となつてゐる宮子には道で遇つた。以前からそんな風な、家庭的なタイプをもつた女だつたのだが今や立派な着物を着て、毛皮の襟巻をして街を歩いてる彼女を見ると、「ほほう、良き出世傳だ！」と春夫は快よく微笑出來た。

話はさらに進んで、その年の秋になる。

京都にゐる滿子へはむろん新京に來てすぐ春夫は手紙を出し、その后も發展してゆく國都のありさまを何かと報告してゐたのだが、それに對して彼女は暫らく返事もよこさずにゐたのに、突然に或る日次のやうな手紙を航空便で寄越したのであつた。

田中春夫樣

この間、大津樣（註—むろん、この物語の前の方に出て來た大津貫三のことである）が、出張で京都へいらした時お逢ひして色々とお話をききました。私、あなたには暫らく、お手紙もあげずにゐたのですが、實はダンスの稽古をしてゐたのよ。あたし、ダンサーになるつもりなの。それも大津樣の話では、今度新京にホールが出來た、とても景氣がいいらしいつていふからあたし斷然新京へ、あなたのゐらつしやる新京へ行くつもりなの、その節はどうぞよろしく御交際をねがひます先は御報せまで

かしこ

十月九日　池谷滿子より

世はまさにダンス時代、彼女もまた「あたし斷然新京へ」といふことになつたのである

新刊書架

本欄紹介希望の新刊は本社編輯局宛一部御送附相成度し（係）

▲赤い鳥（十一月號）久し振りでこの雜誌を見た相かはらず鈴木三重吉氏がたんねんな努力をつづけてゐる、近頃賣出しの感ある坪田讓治の童話「ビハの實」興深く讀めた、童謠の選を白秋がやつてゐないのがさびしい（東京市淀橋區西大久保一の四六〇、赤い鳥社三十錢）

▲實業部月刊（十月號）商工省小金工政課長の「訪滿雜感」始關「商業調査の目標に就て」橋本博士「滿洲視察談」農村副業に關する座談會、時事雜錄、龍江商產業概況、巴彥縣模範村計畫其他並に上記の滿譯を收錄（新京興安大路一一六滿洲行政學會、四角）

▲東大春秋（十一月號）堀朔太郎「所謂近代的土地所有論に就いて」ウイットフォーゲル「經濟史の自然的原因」黑岩敏「認識論に於ける理論と實踐」前川英夫「モラルの探究—芥川龍之介論」等を載す（東京市本鄕區森川町一二二、東大春秋社、二十錢）

▲學報（十月八日）坂口二郎「ヘッドラインの史的考察」四至本八郎「アメリカ新聞の横顏」山根眞治郎「名譽毀損の責任量」等が主內容、田中芳夫の「滿洲雜感」は走り書でつまらない（東京市神田區三崎町二、新聞學院、非賣品）

學藝ニュース

▲ばい風會十一月例會は左記の通り開催される、同好の多數參加希望

一、日時　十一月二日午後七時

二、會場　曙町四丁目十四ノ三、南方

三、兼題　初氷、落葉、通題五句

安産

生れぬ先に養生

ネオブルトーゼ錠

今月 臨月の方の養生法

臨月となれば一切のお産用具をぼつ〳〵纒めて　いつ何時でも狼狽せぬだけの準備をなし　胎兒や骨盤に異常なく　他に病氣が無ければ　努めて不安の念を去り平靜に且つ愉快に日を過ごし　充分の榮養と睡眠をとり　適當な運動を續けて極力元氣と精力とを養ふやう心掛くべきであります

殊に初産の方では　心配のあまり運動もせず　大事をとり過ぎると分娩豫定日を過ぎても　中々お産が始まらず　胎兒は大きくなり過ぎ　いざ　お産と云ふ時に却て難産となることが屢々ありますから注意せねばなりません

就中　お産後　急にお乳の出るやうになるのは實に「ホルモン」の作用によるものでありまして　お乳の出にくいのは「ホルモン」の作用が不充分なるか　又はお産時の出血や　強い發汗の爲に體内水分の不足に基くものですから　それ〳〵手當をしてをくことです

●ネオブルトーゼ錠は姙婦・産婦褥婦に最も適切な　種々の榮養素を網羅した綜合的榮養劑ですから本劑を連用すれば　姙娠中に起る病氣を容易に治療し　分娩時の出血による貧血を　速に恢復し　榮養を充實して體力の消耗を防ぎ延いて旺盛な元氣と精力を與へて名實共に安産保健の實を擧げることは母體のみならず　やがて生れ來る愛兒のためにも必要缺くべからざることであります　殊にお乳の質が良くなり出が豐富になることは乳房の血液循環を佳良にして「ホルモン」の作用を助長するためであります。

一日僅に十二錠の少量で　効果あり増量の必要なし

醫學博士 原田廣先生著
「姙産褥婦の衛生」
附 初生兒の取扱法
申込次第 無代進呈

藥價	
三十日量 三百六十錠入	一圓八十錢
百八十錠入	一圓
千錠入	四圓五十錢
五千錠入	二十一圓

補血・強壯・新藥

ブルトーゼ

効能	品名	定價
補血強壯 増進劑	草味ブルトーゼ	小瓶 二・〇〇 大瓶 三・二〇
神經性 疾患特効劑	アルゼンブルトーゼ	小瓶 二・三〇 大瓶 三・七〇
腺病質特効 補血強壯劑	ヨードブルトーゼ	小瓶 二・三〇 大瓶 三・七〇
健胃補血 強壯劑	キナブルトーゼ	小瓶 二・三〇 大瓶 三・七〇
呼吸器系 疾患特効劑	グアヤコールブルトーゼ	小瓶 二・六〇 大瓶 四・三〇

株式會社 藤澤友吉商店
大阪東區道修町　東京日本橋本町　京城府西小門町

大帝の偉業を偲ぶ 兒童作文發表會

優秀作者百十名に褒賞授與 昨日西廣場校で開催

明治大帝を偲び奉りて

「明治大帝を偲び奉りて」の題下に明治節奉祝學生作文發表會は夕刊既報の通り三十一日午後一時から西廣場小學校講堂で開催されたこの日輝かしくも榮えある優秀作者として選に入つた喜びの生徒兒童を始め各學校から校長先生以下約千名近い學童達が集合野村滿鐵社會主事起つてけふの歡びをたゝへ、直ちに發表會に移つたが各學校から一名の代表者が出ていづれも自作の作品を音吐朗々讀み上げて滿場の聽衆とゝもに明治大帝の偉業を偲んだ、終つて武田委員長から優秀作者百十名に對し賞狀賞品を授與し武田委員長から一場の挨拶があり、最後に明治會古智先生の「明治節について」の講話を聽いて四時すぎ散會したが時節柄極めて有意義な催しであつた、當日表彰されたものは左の通り

▲室町小學校 尋四、堤美智子、宮穗華、川崎澄子、田窪清秀▲尋五、木村範子、中川聰作、太田弟子、中野寛▲尋六、淸水小夜子、松井貞子、田中敏博、和田彰▲高一、平山文子、伊藤史郎、弘中菊子、今井正人▲高二、山口忠、山邊淑子、樋口武彥、蒲谷節子▲西廣場小學校 尋四、久住健昌、大石ツネ子、山本朗▲尋五、高橋素子、森脇郁美▲尋六、山本和、町野裕之、奧田惠子▲白菊小學校 尋四、山中雄風、名須川淳、栗原智子、牛田雅子▲尋五、萩原精、諫山澄子、岡崎達也▲尋六、竹内實、石龜重美子、春日敏子▲八島小學校 尋四、山川瞭子、黒田眞紗子、細川秋彥、溝口俊男▲尋五、飯村俊、宇津木操、佳田匡助▲尋六、熊本敬一郎、久保久子、片桐愛子、▲普通學校 四年、朴仁植、朴鎭根▲五年、趙眞叔、李重菊▲六年、金德容、柳根培▲公學校 高一、傅寶印、毛同仁、▲高二、馬洪清、劉文進▲高等女學校 一年、池田志美、伊丹昌子、武安友子、城川澄子、諫山伸子、▲二年、渡邊千枝子、朝川郁子、靑木美智子▲三年、五百旗頭公惠、川上美智子、辻和子▲四年、宮崎敏子、宮崎靜子▲五年、丸山悦子、阿部靜枝▲中學校 一年、平岩不二男、江部充、淸水瑞穗、槇卓治▲二年、盛谷弘道、伊藤博美、山田辰一▲三年、中村敏勝、麓和義、▲商業學校 一年、佐藤至德、增田幸治、大久保一郎▲二年、河西一美、德山薰、田島愼一▲三年、片桐一郎、中西弘▲五年、鏡本庸義、波多野義一▲五年、淺田實、柳薰

幽靈の架空人物が 煉瓦三萬個窃取

巧妙極まる詐欺男逮捕さる

新京特別市雲龍街二〇一號地に保存の煉瓦五萬三千個のうち約三萬個を窃取された旨所有者市内永樂町二丁目横田實氏より二十八日新京署に屆出があつたので中谷刑事主査の下に犯人搜査に着手、先づ當時煉瓦を運搬したるものを調査するに本月二十四日頃市内祝町五丁目十四大同烝業合資會社が經營する特別市朝陽街田村商會が四台のトラックで約二十回に亘つて東光路の電々會社獨身宿舍新築工事榊谷組現場に運搬したことを突きとめ煉瓦の所有名につき追及すると田村商會の經營者たる祝町五丁目大同烝業合資會社なること判明直ちに同社につき取調べると鐵道北高砂町四丁目六番地早瀨廣太なるものより買收したといふので更に早瀨につき取調べると市内大和通六ノ五渡邊裕夫なるものより

買收 したと稱し日本紙に認めた煉瓦五萬個（一個九厘）金四百五十圓の賣渡契約書を發見、犯人は元横田組に使用されたもので事情に通ぜるものと目星をつけ横田組の使用人を片つ端から取調べると同組使用人本籍群馬縣桐生市新宿通五〇八生れ田沼定夫（二六）が著力賃金の支拂を書いた筆跡と早瀨氏との賣渡契約書との筆跡が酷似してゐるので犯人は田沼とにらみ田沼の搜査をなすに二十七日まで豐樂路朝陽胡同水越某の建築工事現場に働いてゐたが二十七日限り來ないといふので早瀨と何等か關係ありと見た中谷刑事は二十九日午後二時頃高砂町四丁目六番地早瀨の宅を襲ひ家宅搜査すると同家中二階に布團を被つて

潜伏 してゐるを發見有無を言はさず本署に引致嚴重取調べると前記犯行の一切を自白したが田沼は新京百貨店の某印判屋より渡邊といふ認印を僞造し渡邊といふ假空の人間をこしらへ横田氏の煉瓦五萬枚を早瀨に賣渡したものでその巧妙なる詐欺の犯行には取調べの刑事連も呆れてゐる

拳銃所持の三人組强盜

三十日午後五時四十分ごろ孟家橋分所管内興順街四十四號助川苦力頭孫夢秩同大工李玉林方へモーゼル、ブローニング拳銃を所持した三人組强盜が押入り拳銃を突付けお定りの文句をならべ家人を脅迫孫方から衣類二十點、李方から現金百七十七圓耳環一對を强奪逃走した屆け出に接し左長通路署で目下犯人搜査中である

十一月

ストーヴが又我々の生活の中に入つて來た 外に出れば頰をそぐような風、窓は二重窓

それ等が來年の四月まで五月まで、我々の生活の中にどつしりと腰を据えてしまふ。神歸月と言へばユーモアがあり、霜月と言へばそゞろに多の吐息が聞えるようである。子月と謂ひ雪待月と言ふ然し乍ら北滿洲の十一月は豐かな雪花片の洗禮に三寒四溫氣分を深めて行くであらう

▲月曆 三日明治節[illegible]五日一の酉市、八日立冬、十日滿月、十五日七五三祝、十七日二の酉市、廿三日新嘗祭、小雪、廿九日三の酉市、卅日滿期兵除隊

▲季寄 ○初霜○落葉○多の月○殘菊○薄氷○多の雨○椿○山茶花○紅葉○菊○多バラ○かながしら○さわら○眼張○きす○いぼ鯛○蛤○大根漬菜○白菊○うど○秋馬鈴薯○密柑○金柑

▲野菜 ○栗○さつまいも○里芋○かぶら○きく○大根○唐菜○ほうれん草○八つ頭○蓮根○（出始めるもの）生椎茸○人參（やや量の少いもの）キャベツ○つくね芋○ひね生姜○柚子○百合

▲魚類 ○かぢき○かます○さんま○さうだ鰹○わらさ（出始めるもの）○甘鯛○芝えび○いただ○數の子○貝柱○鮫○新鹽鮭○鱈の鮐○むつ○赤魚○かき○ほうぼう○きんめ○わかさぎ

宮坂畫伯個展 二日から

帝國美術學校教授、國畫會々員宮坂勝氏は氏特有の畫風によつて滿洲國洋畫界に多大の刺戟を與へてゐるが來る十一月二、三、四日の三日間記念公會堂に於て個人展覽會を催す、（寫眞は宮坂畫伯）

同宿人の金品を盜む

二十九日午後十一時頃から三十日朝までの間に市内梅ヶ枝町三丁目二十四下宿屋李德和方止宿滿洲國々都建設局勤務權鳳吉氏が現金百三十圓窃取されたとの屆出に新京署では犯人は内部の者とにらみ同下宿止宿本籍朝鮮咸南安邊郡山面南小里生れ金道均（三二）を被疑者として三十一日本署に引致嚴重取調べの結果犯行の一切を自白したがなほ餘罪取調べ中

明治節を飾る

競ふ菊花展と武具展の催し

出品は此際至急に

明治節の佳辰を飾る菊花展覽會は二三兩日午前十時から午後九時まで太子堂で、また同じく刀劍武具展覽會は三日午前十時から午後四時迄中央ホテル廣場で開催されるが、いづれも出品三百點に上り盛況を豫想されるが、なほこの際一般同好者の出品を歡迎し各役員はこれが勸誘に努めてゐる、この際菊花といはず刀劍武具といはず持合せの方は奉つて出品されたいと但し菊花展はけふ一日を以て申込締切のはず、なほ刀劍武具店では中央ホテル主松原末さんが同展の趣旨に心から贊成し、當日は會場として二十疊敷廣間二室を開放した上に進んで茶菓の用意までしたいと申出でたので主催者側では痛く感激してゐる

不在中盜まる

市内入船町三丁目十七番地ノ二朴南奎氏方に三十日午後三時頃何者かが家人の不在を奇貨とし屋内に侵入し赤皮トランクに入れてあつた三百九十圓預入の郵便通帳を窃取されたこと後程發見屆け出た

新京驛構内で貨車三輛脫線す

京濱、京圖線の各列車立往生 ダイヤ大混亂

三十日午後五時頃新京驛構内で入替作業中の貨物列車が東信號所前京濱本線、京圖線貨物線の間に前部から五輛目有蓋車一輛（大豆）、無蓋車（空車）計三車脫線傾斜これが復舊に保線區、檢車區總動員にて線路切替を行ひ漸く三時間半を費し八時三十分頃復舊開通をみた、これがため構内現場は完全に閉鎖され五時四十六分着（十六分延着）下りあじあを始め七時三十五分着（ハルビンから）その他各列車は數時間ダイヤが狂ひ夕方から深更に至るまで混雜し旅客關係者並びに旅客は大混雜を呈した

なほこれによりダイヤは左の通りの狂ひを生じた

大連からの下りあじあは第三ホームに五時三十分到着、第二ホームに入れかへて現場復舊まで待つこと三時間、午後八時四十分漸くハルビンに向ひ出發した、なほハルビン發七時三十五分新京着の旅客列車は一間堡に待機する事約二時間にしてあじあ發車後八時五十分新京驛に到着した

神宮中等野球 愛商、岐商勝つ

【東京國通】明治神宮大會の全國選拔中等學校及び大學新人野球戰は三十日神宮球場、戸塚球場双方で一齊に開始された、選拔中等一回戰、育英商對愛知商戰は午前十時八分神宮球場に於て愛知先攻で開始八對一で愛知商勝つ、閉戰零時十五分

一方岐阜商業對早稻田實業の試合は午前十時四十五分戸塚球場で早稻田先攻開始四A對零で岐阜商勝つ閉戰零時十分

新らしき生活設計 生活準備相談會 來る五日新京友の會で主催

新京友の會では地方事務所社會係の後援で第二回目の生活準備相談會を來る十一月五日（火）午前十時より午後四時まで記念公會堂に於て（會員券五十錢中食費を含）催すことゝなつた同會の念願とするところは本一年間の締めくゝりと、來るべき新しき年の明朗なる生活設計に心の準備にその與へられた生活を「よりよき生活」であらしめたいといふのである

尚此の意義ある相談會の指導者として友の會中央部から小林四枝女史が特に出席され家事會計其他についての講話がある筈家庭の方々は成可く參加出席され、得た智識によつてよりよき生活を營まれん事を切望してゐる

各校の就職係運動始まる

商業生は既に廿二名決定

洋々たる希望に燃えて若人が懷かしの母校を巢立つ日は未だ後の事であるが各學校の就職係は既に活躍してゐる、たまく新京商業學校を訪れた記者に就職係の神崎先生は表を示して來年度就職豫想を語られたが昨年度現在に比し申込者が少いため就職は幾分困難かも知れないとの事である尚同校卒業見込者約七十四名の中上級學校志望廿二、自家營業志望四、就職希望四十八に對し現在申込は鮮銀二、住友一、滿電五、大興公司一二名高島屋二との事である

高女生の警察見學

新京高等女學校五年全生徒は安間教諭に引率されて三十一日午後一時より新京署の見學をなしたが一行は署樓上講堂に於て約三十分に亘り廣石署長より警察事務の講話を聞きそれより各係それぐ見學した

商店合理化委員會

新京商店合理化委員會では昨日午後三時より商工會議所樓上に於て特別委員會を開催した、決定事項の概略左の如し

（一）物價表を作成し小賣物價の合理化を行ふ事

（二）近くサーヴイス座談會を開くこと

（三）合理化委員をして各商店を廻らしめ店主の緊張振を調査せしめること

四、店員手帳により毎年六月一日優秀店員の表彰を行ふ事

あじあに投石

二十一日午後一時五十二分新京着上りあじあが京濱線米沙子驛を一時二十分ごろ通過の際附近にいた四、五十名のうちの一人と思はれる滿人があじあ目がけて直經一寸程の石を投げ、一等展望車向つて右側の二重窓に當り一枚は目茶苦茶に破損して新京に到着した

特別市主催 禮敎講演會

新京特別市公署教育科主催の下に布利秋先生を講師として「明治天皇の御威德を語る」の演題の下に禮教講演會が行はれる由である布先生は日本に於ける地理學の泰斗として且つ不世出とまでいはれる志賀重剛先生の高弟であるのみならず十八ケ年間に亘り世界五十五ケ國を巡遊し人文地理學を研究歸朝するや更に日本外務省東方文化事業部の委囑により蒙古國境探險隊長として三ケ年間探險に任ずる等斯界の權威者として有名である、今回は滿鐵の招聘により一ケ年間各地の講演途上特に依賴して催す講演會とて市公署では一般の來聽を歡迎する由

業務横領の大連二中會計主任 懲役一年の求刑

【大連國通】昭和八年三月頃から逢坂町遊廓の藝妓と仲良くなり同十月には落籍妾宅まで構へたが金に窮し同年四月から去る六月迄約二ケ年間に亘り生徒授業料其の他の公金五萬二百三十二圓八十九錢を費ひ込んだ大連第二中學校會計主任中島政治（四七）にかゝる業務横領有價證券僞造詐欺事件の第一回公判は卅一日午前十時より關東地方法院で中里裁判長係で開廷、事實審理の後午後二時中島に對し池内檢察官から懲役一年六ケ月の求刑があつた

齒科醫師會總會

新京齒科醫師會第二回總會は三日午後三時から記念公會堂第二集會室で開催され役員改選その他があり終つて懇親宴を張るはず

地方事務所住宅係の石谷松枝氏、丸山係主任と同道して去る二十九日太子堂に於ける支那古美術展に出かけたまではよいが、珍らしい孔雀石が見つかつたので手に取つた拍子にどうしたはずみかドシーンと落したのが運惡く、下にあつた古器にぶち當つて木葉微塵に壞して終つた。

× ×

古器といふのは今から三百五十年前支那から渡つたもので、相當いはれのあるもの、賣價四十五圓とあつたそうだが、石谷氏さすがに面喰つて主催者の靑井文藻堂にお詫びはもちろん、これが辨償方を申込れたところ、當の靑井さんは「なに別に故意になされたわけではない、全く過失なんだから辨償などは滅相もない」とどうしても受け容れて呉れない。

× ×

石谷氏も當惑してその後再三たとひ賣價の半分でもと交涉して見たが聽き容れられず、何か代りの品でも買はんとしたがそれとても認められなかつたそうだ、これを知つた石谷氏の同僚連は今更の如く靑井氏の美德に感激し更めて稲葉庶務係長以下揃つてお詫び言上に出かけた。

愛よ戰ひとれ

（舞上演映畫化）

福田正夫

武八畫

（六十九）

暗礁（五）

「あなたに比べて……といふんですよ」

渡邊は盃を取り上げた。

「まあ、いやだ！」

勝美は勝子を召使づれと思つてゐたので、辱められたやうに唇をふくらめた。が、それがなほ彼女をかゞやかしく艶やかにした。

「私はお酷なんか、なんとも思つてやしないわ」

「それはさうでせう」

渡邊が、瞳を彼女の方にづらした。

「僕も、さうなんで……あんなもの、なんとも思つてやしません」

「え？」

「あなたより外に、望みがないといふことなのです」

「なにをいふの？」

「今日は、いはせて頂きますよ。女手に結婚の申込も……」

「なにをいふんですの」

勝美は不安になつた。

「私、お酷を見てくるわ」

「あの人は踊りましたよ」

「えツ、お酷が？」

彼女は半信半疑だつた。

「そんなことある譯がないわ。……お酷には行くところがないぢやないの」

「大和君のところに行くでせう、きつと……」

「まあ！」

「あんた、く、あれに智慧をかしたのね」

「いゝえ！」

「そして大をはめこんだのよ」

「どうしてゞす？」

「だつて郁雄を断しちやつたぢやあないの、勝手に！」

彼女はもうそれを認めた。

「あの人が踊りたがつたのです」

「嘘！」

彼女は一刻もそこにゐたくなかつた。

「では、私も踊ります」

「はゝ！」

渡邊が陰險に笑つた。

「大分ありますよ」

「こゝからだつて、自動車もあれば、汽車もあるわ。……一しよにドライヴしてやつたのを、有難く思はないのね」

「思つてます、多分に……」

彼は膝を進めた。――それは勝美が身をすさるほど近かつた。

「だから、踊りにも仲よく一しよに行かうぢゃありませんか」

「いや！」

美しい瞳が、渡邊をつきさした。

「私はひとりで踊るからいゝわ」

彼女はスーツ・ケースをさがしたが見えなかつた。

「あら、どうしたのかしら？」

「なんです？」

「ケースよ」

「お預かりしてあります」

「えツ！」

勝美は、はつとした。

「だ、出して頂戴！」

「さうは行きません。……いつもあなたは僕をうつたりしましたね。しかし僕はおとなしく奴隷になつてゐましたよ。が、今日は主人公になるのです」

「あッ！」

勝美は渡邊の目に、冷酷ともいつていゝ鋭いものが、かゞやくのを見た。」